

2022 年度(令和4年度)

第3回福山市市政モニターアンケート調査報告書

(福山市市政モニター業務報告書)

【2022 年(令和4年)11 月実施】

2023 年(令和5年)2月

福 山 市

【目次】

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
3. 調査結果	
(1) 今後の子育て支援施策のあり方について.....	4
(2) 市政モニター制度について.....	25
(3) 回答者の属性.....	45
資料編 2022年度(令和4年度) 第3回 市政モニターアンケート調査票	48

1. 調査の目的

幅広い世代の様々な立場の市民等から意見を聴き、政策や市政運営に繋げることで、市民に身近な市政を実現するため。

2. 調査の仕様

(1) 調査項目

- 今後の子育て支援施策のあり方について
- 市政モニター制度について

(2) 調査対象

16歳以上の福山市民又は市外在住で福山市政に関心のある方で福山市市政モニターに登録された747人

(3) 調査方法

インターネット（福山市電子申請サービス）及び郵送により実施

(4) 調査期間

2022年（令和4年）11月9日（水）～11月24日（木）

(5) 集計・分析方法

回答者全体を対象とした単純集計及び、属性別（性別、子育て世帯別、年代別、エリア別、職業別）のクロス集計を実施

(6) 集計表の見方

○回答結果は、各項目の無回答を含む有効回答数に対する百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。

○複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対しての、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。

○属性別集計表の中の横棒は、回答率（％）を示しています。

下記の【説明例】では、回答者全体（400人）の50.0％が項目1を選択したことを示しています。
また、回答者全体を性別で見ると、男性回答者（190人）の56.0％、女性回答者（200人）の42.0％が項目1を選択したことを示しています。

【説明例】属性別集計表

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	400	190	200	10	90	280	30
項目1	50.0	56.0	42.0	50.0	51.0	49.0	54.0
項目2	30.0	24.0	58.0	30.0	33.0	29.0	30.0
項目3	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	19.0	15.0
項目4	5.0	5.0	5.0	0.0	1.0	3.0	0.0

○属性別集計表のうち、性別と子育て世帯別の表については、回答者全体の回答率より5.0ポイント以上高い項目を赤字、5.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

上記の【説明例】では、項目1の男性回答者の回答率（56.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を6.0ポイント（ $=56.0-50.0$ ）上回っているため、赤字で表記しています。

一方、項目1の女性回答者の回答率（42.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を8.0ポイント（ $=42.0-50.0$ ）下回っているため、青字で表記しています。

○属性別集計表のうち、年代別、エリア別、職業別の表については、回答者全体の回答率より10.0ポイント以上高い項目を赤字、10.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

(7) 発送・回収状況

図表 2-1 発送・回収状況

	モニター数	回答数	回答率
インターネット回答	495 件	221 件	44.6%
郵送回答	252 件	205 件	81.3%
合計	747 件	426 件	57.0%

図表 2-2 【属性別】発送・回収状況

【性別】

区分	モニター数	回答数	回答率
男性	354 件	199 件	56.2%
女性	388 件	223 件	57.5%
不明	5 件	4 件	80.0%

【年代】

区分	モニター数	回答数	回答率
10 歳代	50 件	18 件	36.0%
20 歳代	120 件	47 件	39.2%
30 歳代	139 件	66 件	47.5%
40 歳代	127 件	70 件	55.1%
50 歳代	101 件	63 件	62.4%
60 歳代	97 件	72 件	74.2%
70 歳以上	113 件	90 件	79.6%

【エリア】

区分	モニター数	回答数	回答率
中部	330 件	189 件	57.3%
南部	48 件	30 件	62.5%
松永	39 件	19 件	48.7%
北部	110 件	67 件	60.9%
東部	106 件	54 件	50.9%
神辺	55 件	40 件	72.7%
市内 (小学校区不明)	48 件	24 件	50.0%
市外	11 件	3 件	27.3%

【職業等】

区分	モニター数	回答数	回答率
正規雇用労働者	278 件	139 件	50.0%
非正規雇用労働者	82 件	50 件	61.0%
自営業	51 件	35 件	68.6%
主夫・主婦	115 件	86 件	74.8%
学生	80 件	27 件	33.8%
その他	141 件	89 件	63.1%

【子育て世帯】

区分	モニター数	回答数	回答率
はい	202 件	101 件	50.0%
いいえ	478 件	287 件	60.0%
不明	67 件	38 件	56.7%

3. 調査結果

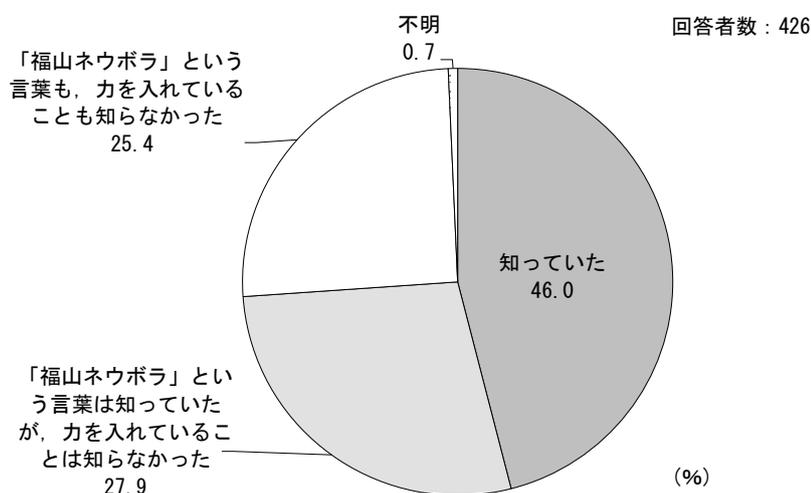
(1) 今後の子育て支援施策のあり方について

問1 福山市が「福山ネウボラ」に力を入れていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「知っていた」が46.0%と最も高く、次いで、「「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった」(27.9%)、「「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」(25.4%)となっています。

図表 3-1 福山市が「福山ネウボラ」に力を入れていることについて



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』では「知っていた」「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった」が高く、『いいえ(子育て世帯以外)』では「「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
知っていた	46.0	42.2	49.8	25.0	58.4	44.3	26.3
「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった	27.9	29.1	26.0	75.0	37.6	23.7	34.2
「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった	25.4	28.6	22.9	0.0	3.0	31.4	39.5
不明	0.7	0.0	1.3	0.0	1.0	0.7	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった」が高く、『20歳代』『50歳代』では「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
知っていた	46.0	0.0	40.4	50.0	52.9	36.5	55.6	48.9
「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった	27.9	38.9	23.4	36.4	30.0	22.2	26.4	25.6
「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった	25.4	61.1	36.2	12.1	15.7	41.3	18.1	24.4
不明	0.7	0.0	0.0	1.5	1.4	0.0	0.0	1.1

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「知っていた」が高く、『松永』では「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
知っていた	46.0	47.6	60.0	31.6	46.3	46.3	45.0	33.3	0.0
「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった	27.9	28.0	16.7	31.6	23.9	29.6	35.0	33.3	33.3
「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった	25.4	23.3	23.3	36.8	29.9	22.2	20.0	33.3	66.7
不明	0.7	1.1	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『主夫・主婦』では「知っていた」が高く、『学生』では「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった」「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
知っていた	46.0	40.3	56.0	54.3	58.1	7.4	46.1
「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった	27.9	29.5	34.0	25.7	23.3	40.7	23.6
「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった	25.4	28.8	10.0	20.0	17.4	51.9	30.3
不明	0.7	1.4	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0

問2

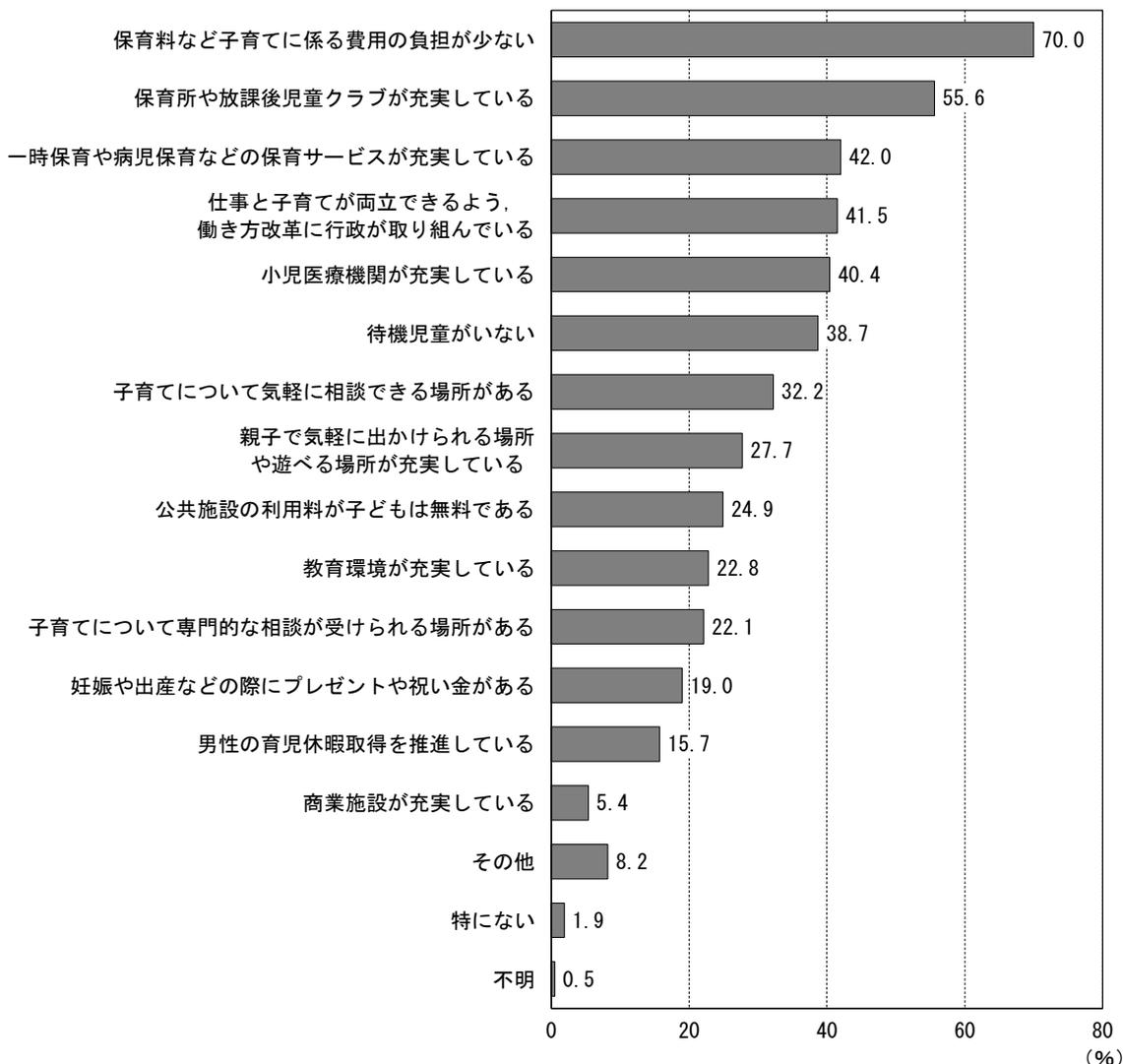
「子育てしやすいまち」と聞いて特にイメージするものは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「保育料など子育てに係る費用の負担が少ない」が70.0%と最も多く、次いで、「保育所や放課後児童クラブが充実している」(55.6%)となっています。

図表 3-2 「子育てしやすいまち」と聞いて特にイメージするもの

回答者数：426



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
子育て世代は税控除等を受けられる。	男性	10歳代	中部
出産にも病院以外の選択肢がある（特に助産院、自宅出産）	女性	30歳代	南部
子供の乗ったファミリーカーが駐車しやすい広々とした駐車場が、子供の活動に必要な場所に充分にあること。	女性	40歳代	中部
保護児童の数が少なく、保護が必要な子や家族の支援が充実している。	女性	40歳代	中部
外国人のお母さんも安心して子育てができる町	女性	40歳代	東部
男性の意識改革に積極的に取り組んでいる。男性が家事や育児などシェアするのが当たり前。	女性	70歳以上	中部

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』では「保育料など子育てに係る費用の負担が少ない」「親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している」などが高く、『いいえ（子育て世帯以外）』では「子育てについて気軽に相談できる場所がある」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	70.0	74.4	65.9	75.0	75.2	68.6	65.8
公共施設の利用料が子どもは無料である	24.9	25.6	23.3	75.0	31.7	22.3	26.3
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	19.0	19.6	17.9	50.0	23.8	18.5	10.5
保育所や放課後児童クラブが充実している	55.6	54.8	56.5	50.0	54.5	55.1	63.2
待機児童がない	38.7	41.2	35.9	75.0	31.7	39.7	50.0
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	42.0	44.2	40.4	25.0	43.6	40.4	50.0
子育てについて気軽に相談できる場所がある	32.2	32.7	31.8	25.0	18.8	38.3	21.1
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	22.1	23.6	21.1	0.0	18.8	24.4	13.2
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	41.5	39.2	44.4	0.0	31.7	44.9	42.1
男性の育児休暇取得を推進している	15.7	13.6	17.5	25.0	5.9	18.5	21.1
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	27.7	25.6	30.0	0.0	45.5	22.3	21.1
教育環境が充実している	22.8	21.1	23.8	50.0	23.8	23.3	15.8
小児医療機関が充実している	40.4	40.7	40.4	25.0	43.6	39.7	36.8
商業施設が充実している	5.4	5.0	5.8	0.0	10.9	2.4	13.2
特にない	1.9	1.5	2.2	0.0	2.0	2.1	0.0
その他	8.2	9.5	6.7	25.0	5.9	8.7	10.5
不明	0.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「待機児童がない」「妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある」などが高く、『20歳代』では「親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している」などが高く、『30歳代』では「保育料など子育てに係る費用の負担が少ない」などが高く、『40歳代』では「教育環境が充実している」が高く、『60歳代』では「保育所や放課後児童クラブが充実している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	70.0	77.8	74.5	81.8	62.9	73.0	76.4	55.6
公共施設の利用料が子どもは無料である	24.9	33.3	34.0	22.7	30.0	19.0	16.7	26.7
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	19.0	38.9	29.8	28.8	10.0	9.5	16.7	17.8
保育所や放課後児童クラブが充実している	55.6	44.4	53.2	51.5	45.7	55.6	66.7	61.1
待機児童がない	38.7	50.0	29.8	33.3	41.4	36.5	38.9	44.4
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	42.0	50.0	42.6	48.5	31.4	50.8	45.8	34.4
子育てについて気軽に相談できる場所がある	32.2	16.7	31.9	19.7	34.3	34.9	31.9	41.1
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	22.1	16.7	17.0	13.6	27.1	17.5	25.0	28.9
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	41.5	27.8	27.7	37.9	42.9	49.2	44.4	45.6
男性の育児休暇取得を推進している	15.7	33.3	21.3	12.1	12.9	9.5	16.7	17.8
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	27.7	16.7	38.3	37.9	34.3	25.4	16.7	22.2
教育環境が充実している	22.8	27.8	14.9	22.7	35.7	19.0	26.4	15.6
小児医療機関が充実している	40.4	11.1	36.2	50.0	40.0	41.3	44.4	37.8
商業施設が充実している	5.4	11.1	14.9	10.6	5.7	1.6	0.0	2.2
特にない	1.9	0.0	0.0	3.0	1.4	4.8	0.0	2.2
その他	8.2	11.1	2.1	6.1	11.4	6.3	11.1	8.9
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「教育環境が充実している」「妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある」などが高く、『松永』では「待機児童がない」「仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる」「子育てについて気軽に相談できる場所がある」などが高く、『北部』では「子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある」が高く、『東部』では「子育てについて気軽に相談できる場所がある」などが高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	70.0	69.8	66.7	63.2	73.1	72.2	60.0	79.2	100.0
公共施設の利用料が子どもは無料である	24.9	25.4	20.0	21.1	17.9	25.9	30.0	29.2	100.0
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	19.0	19.0	30.0	10.5	19.4	13.0	20.0	16.7	66.7
保育所や放課後児童クラブが充実している	55.6	56.6	53.3	47.4	56.7	61.1	57.5	45.8	0.0
待機児童がない	38.7	41.8	20.0	57.9	40.3	29.6	42.5	37.5	0.0
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	42.0	42.9	40.0	15.8	47.8	38.9	42.5	45.8	66.7
子育てについて気軽に相談できる場所がある	32.2	31.7	23.3	47.4	31.3	44.4	22.5	25.0	33.3
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	22.1	19.0	6.7	15.8	35.8	29.6	20.0	16.7	33.3
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	41.5	40.7	26.7	52.6	41.8	46.3	42.5	41.7	66.7
男性の育児休暇取得を推進している	15.7	14.3	16.7	21.1	16.4	27.8	10.0	4.2	0.0
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	27.7	29.1	30.0	36.8	17.9	25.9	35.0	25.0	33.3
教育環境が充実している	22.8	22.2	43.3	36.8	16.4	20.4	20.0	20.8	0.0
小児医療機関が充実している	40.4	36.0	43.3	42.1	43.3	46.3	45.0	45.8	0.0
商業施設が充実している	5.4	7.4	10.0	0.0	4.5	3.7	0.0	4.2	0.0
特にない	1.9	2.1	3.3	0.0	3.0	0.0	2.5	0.0	0.0
その他	8.2	6.9	23.3	0.0	7.5	9.3	7.5	8.3	0.0
不明	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「保育所や放課後児童クラブが充実している」などが高く、『学生』では「公共施設の利用料が子どもは無料である」「妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	70.0	74.1	70.0	71.4	57.0	77.8	73.0
公共施設の利用料が子どもは無料である	24.9	26.6	22.0	17.1	25.6	48.1	19.1
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	19.0	20.9	16.0	22.9	16.3	40.7	12.4
保育所や放課後児童クラブが充実している	55.6	50.4	50.0	68.6	64.0	48.1	56.2
待機児童がない	38.7	33.1	46.0	31.4	36.0	48.1	46.1
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	42.0	44.6	36.0	37.1	38.4	48.1	44.9
子育てについて気軽に相談できる場所がある	32.2	26.6	38.0	42.9	33.7	25.9	33.7
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	22.1	17.3	22.0	20.0	31.4	22.2	21.3
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	41.5	45.3	50.0	40.0	39.5	22.2	39.3
男性の育児休暇取得を推進している	15.7	12.9	20.0	14.3	20.9	29.6	9.0
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	27.7	28.8	30.0	28.6	31.4	22.2	22.5
教育環境が充実している	22.8	19.4	28.0	25.7	23.3	18.5	24.7
小児医療機関が充実している	40.4	40.3	50.0	48.6	37.2	22.2	40.4
商業施設が充実している	5.4	5.8	6.0	5.7	3.5	11.1	4.5
特にない	1.9	2.2	2.0	0.0	0.0	0.0	4.5
その他	8.2	7.9	4.0	11.4	9.3	7.4	9.0
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0

問3

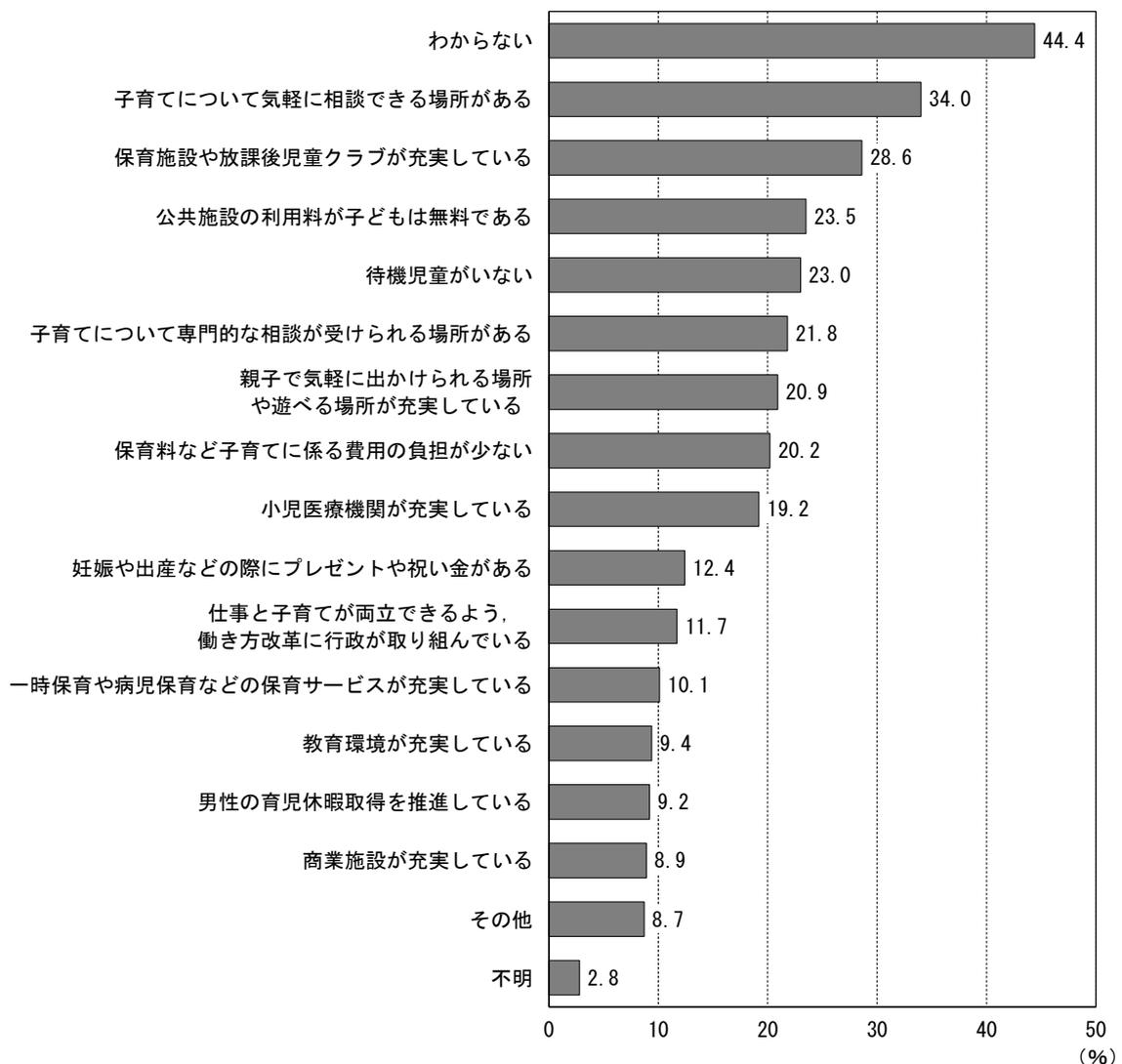
福山市が十分取り組んでいると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「わからない」が44.4%と最も多くなっています。次いで、「子育てについて気軽に相談できる場所がある」(34.0%)、「保育施設や放課後児童クラブが充実している」(28.6%)となっています。

図表 3-3 福山市が十分取り組んでいると思うこと

回答者数：426



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
新涯 TSUTAYA の店内にフリースペースがあり、小学生がそこで楽しそうに勉強をしているのを見た事がある。その様な場所が沢山あると良いなと思った。	女性	40 歳代	中部
自分が子育てをしていた頃に比べて保育時間も長くなり子どもの医療費負担も軽減されているが、他市も同じ取組をしている。小児夜間の診療やこども発達支援センターなどは充実している。	女性	50 歳代	松永

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「待機児童がない」「保育料など子育てに係る費用の負担が少ない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「子育てについて気軽に相談できる場所がある」「子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	20.2	25.6	15.7	0.0	21.8	19.9	18.4
公共施設の利用料が子どもは無料である	23.5	26.1	21.1	25.0	21.8	24.0	23.7
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	12.4	12.6	11.7	50.0	12.9	12.5	10.5
保育施設や放課後児童クラブが充実している	28.6	30.7	26.9	25.0	24.8	30.7	23.7
待機児童がない	23.0	28.1	18.4	25.0	18.8	23.0	34.2
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	10.1	13.6	6.7	25.0	8.9	11.1	5.3
子育てについて気軽に相談できる場所がある	34.0	33.7	34.5	25.0	39.6	32.4	31.6
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	21.8	20.1	22.9	50.0	32.7	18.1	21.1
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	11.7	15.6	8.5	0.0	5.0	13.6	15.8
男性の育児休暇取得を推進している	9.2	8.5	9.4	25.0	8.9	9.4	7.9
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	20.9	21.1	21.1	0.0	20.8	19.2	34.2
教育環境が充実している	9.4	12.6	6.7	0.0	5.9	9.8	15.8
小児医療機関が充実している	19.2	20.6	17.9	25.0	26.7	17.8	10.5
商業施設が充実している	8.9	10.6	7.2	25.0	7.9	9.1	10.5
わからない	44.4	41.2	47.5	25.0	39.6	46.3	42.1
その他	8.7	5.5	11.2	25.0	12.9	8.0	2.6
不明	2.8	2.5	3.1	0.0	1.0	3.1	5.3

年代別でみると、回答者全体と比較して、『50歳代』では「小児医療機関が充実している」「商業施設が充実している」が高く、『70歳以上』では「保育施設や放課後児童クラブが充実している」「待機児童がない」「公共施設の利用料が子どもは無料である」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	20.2	27.8	14.9	19.7	12.9	22.2	16.7	28.9
公共施設の利用料が子どもは無料である	23.5	16.7	25.5	18.2	24.3	22.2	13.9	35.6
妊娠や出産の際にプレゼントや祝い金がある	12.4	0.0	8.5	12.1	10.0	9.5	9.7	23.3
保育施設や放課後児童クラブが充実している	28.6	27.8	14.9	24.2	22.9	31.7	27.8	42.2
待機児童がない	23.0	16.7	17.0	18.2	17.1	22.2	18.1	40.0
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	10.1	16.7	6.4	6.1	5.7	11.1	12.5	14.4
子育てについて気軽に相談できる場所がある	34.0	38.9	38.3	31.8	28.6	31.7	31.9	40.0
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	21.8	16.7	23.4	22.7	25.7	17.5	25.0	18.9
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	11.7	16.7	10.6	6.1	1.4	19.0	9.7	20.0
男性の育児休暇取得を推進している	9.2	11.1	4.3	13.6	2.9	6.3	12.5	12.2
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	20.9	27.8	21.3	25.8	21.4	20.6	12.5	22.2
教育環境が充実している	9.4	11.1	8.5	7.6	4.3	11.1	12.5	11.1
小児医療機関が充実している	19.2	27.8	10.6	22.7	20.0	30.2	15.3	14.4
商業施設が充実している	8.9	16.7	8.5	7.6	5.7	20.6	8.3	3.3
わからない	44.4	50.0	48.9	50.0	47.1	46.0	48.6	30.0
その他	8.7	0.0	4.3	10.6	12.9	9.5	11.1	5.6
不明	2.8	5.6	0.0	3.0	1.4	0.0	2.8	6.7

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「商業施設が充実している」が高く、『松永』では「仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる」「男性の育児休暇取得を推進している」が高く、『神辺』では「男性の育児休暇取得を推進している」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	20.2	23.8	10.0	21.1	19.4	14.8	20.0	20.8	0.0
公共施設の利用料が子どもは無料である	23.5	23.8	13.3	21.1	23.9	31.5	27.5	12.5	0.0
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	12.4	13.8	10.0	5.3	17.9	11.1	7.5	8.3	0.0
保育施設や放課後児童クラブが充実している	28.6	26.5	30.0	26.3	32.8	35.2	30.0	16.7	33.3
待機児童がない	23.0	19.6	13.3	31.6	31.3	31.5	20.0	16.7	33.3
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	10.1	9.0	6.7	10.5	17.9	13.0	7.5	0.0	0.0
子育てについて気軽に相談できる場所がある	34.0	36.5	26.7	42.1	31.3	38.9	27.5	29.2	0.0
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	21.8	23.3	13.3	5.3	31.3	20.4	15.0	25.0	0.0
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	11.7	7.9	10.0	31.6	14.9	16.7	12.5	8.3	0.0
男性の育児休暇取得を推進している	9.2	5.8	6.7	21.1	10.4	11.1	20.0	4.2	0.0
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	20.9	18.0	20.0	26.3	23.9	20.4	20.0	33.3	33.3
教育環境が充実している	9.4	6.3	13.3	5.3	9.0	16.7	12.5	4.2	66.7
小児医療機関が充実している	19.2	18.0	16.7	26.3	19.4	22.2	22.5	16.7	0.0
商業施設が充実している	8.9	7.4	20.0	5.3	9.0	9.3	15.0	0.0	0.0
わからない	44.4	47.6	46.7	31.6	38.8	42.6	37.5	54.2	66.7
その他	8.7	9.0	10.0	10.5	7.5	9.3	10.0	4.2	0.0
不明	2.8	2.1	6.7	0.0	3.0	1.9	2.5	8.3	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『正規雇用労働者』では「わからない」が高く、『自営業』では「保育施設や放課後児童クラブが充実している」「一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している」が高く、『主夫・主婦』では「子育てについて気軽に相談できる場所がある」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
保育料など子育てに係る費用の負担が少ない	20.2	14.4	22.0	20.0	19.8	25.9	27.0
公共施設の利用料が子どもは無料である	23.5	21.6	22.0	22.9	23.3	22.2	28.1
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	12.4	10.8	8.0	20.0	14.0	0.0	16.9
保育施設や放課後児童クラブが充実している	28.6	21.6	22.0	45.7	33.7	29.6	31.5
待機児童がない	23.0	18.7	18.0	25.7	29.1	14.8	28.1
一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している	10.1	5.8	12.0	22.9	5.8	11.1	14.6
子育てについて気軽に相談できる場所がある	34.0	25.2	30.0	37.1	47.7	29.6	37.1
子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある	21.8	15.8	22.0	17.1	29.1	14.8	28.1
仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる	11.7	6.5	10.0	8.6	11.6	18.5	20.2
男性の育児休暇取得を推進している	9.2	7.2	10.0	8.6	14.0	7.4	7.9
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している	20.9	18.0	18.0	20.0	23.3	29.6	22.5
教育環境が充実している	9.4	10.1	2.0	5.7	11.6	14.8	10.1
小児医療機関が充実している	19.2	20.1	28.0	22.9	18.6	22.2	11.2
商業施設が充実している	8.9	9.4	12.0	11.4	5.8	14.8	6.7
わからない	44.4	54.7	46.0	34.3	38.4	51.9	34.8
その他	8.7	11.5	16.0	8.6	7.0	0.0	4.5
不明	2.8	1.4	0.0	2.9	3.5	3.7	5.6

問 4

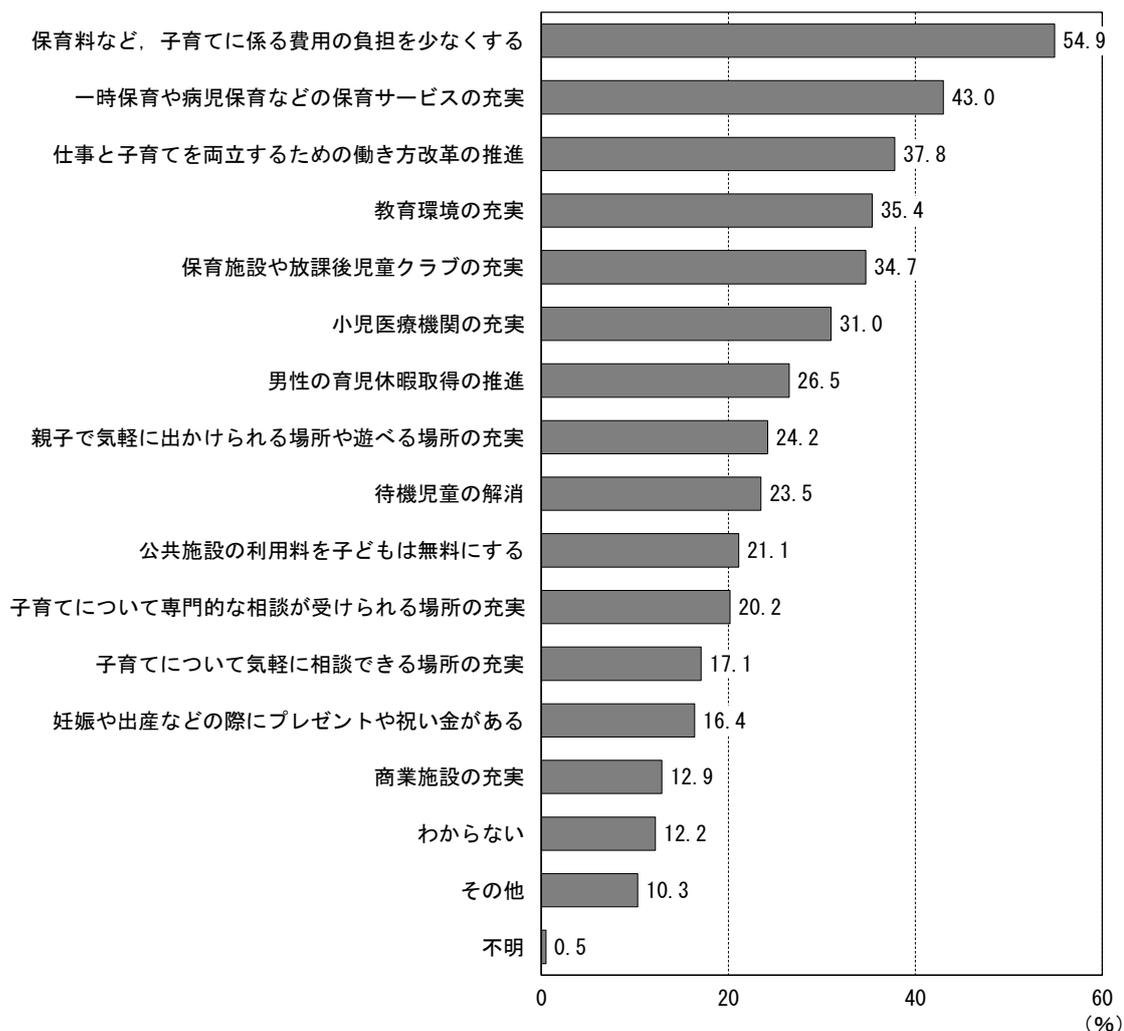
福山市がさらに取り組む必要があると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする」が 54.9%と最も多く、次いで、「一時保育や病児保育などの保育サービスの充実」(43.0%) となっています。

図表 3-4 福山市がさらに取り組む必要があると思うこと

回答者数：426



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
デジタル化を進めすぎていて、子供の負担が大きすぎるのが気になる。子供に毎日タブレットを持たせてランドセルが重すぎる！タブレットを学校に置けるようにしてほしい。よその町の人と話したときにびっくりされました。子供がとてもかわいそうです。	女性	30 歳代	東部
私立小学校があるのも福山市の魅力です。電車通学を頑張る小学生の為に、安全な送迎場所が駅前に欲しいです。地下駐車場もロータリーも足らず、子供を安全に駅へ送迎することが難しいです。	女性	40 歳代	中部
雇用環境の充実	男性	60 歳代	北部
小児科は一時期より増えているが、子どもに怪我はつきもの、外科が少ないことから万一の怪我や事故の時に駆け込む外科が近隣に無い。	男性	60 歳代	北部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「教育環境の充実」「親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする	54.9	57.3	52.5	75.0	59.4	53.3	55.3
公共施設の利用料を子どもは無料にする	21.1	22.6	19.7	25.0	25.7	19.2	23.7
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	16.4	21.6	11.7	25.0	17.8	16.7	10.5
保育施設や放課後児童クラブの充実	34.7	33.2	35.4	75.0	37.6	32.4	44.7
待機児童の解消	23.5	26.6	20.6	25.0	21.8	23.0	31.6
一時保育や病児保育などの保育サービスの充実	43.0	44.2	41.7	50.0	38.6	42.9	55.3
子育てについて気軽に相談できる場所の充実	17.1	15.1	18.8	25.0	13.9	19.2	10.5
子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実	20.2	19.1	20.6	50.0	17.8	22.6	7.9
仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進	37.8	36.2	39.9	0.0	35.6	39.4	31.6
男性の育児休暇取得の推進	26.5	25.1	27.8	25.0	17.8	29.6	26.3
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実	24.2	20.6	27.4	25.0	36.6	21.6	10.5
教育環境の充実	35.4	33.2	37.2	50.0	49.5	31.7	26.3
小児医療機関の充実	31.0	30.7	31.4	25.0	34.7	31.0	21.1
商業施設の充実	12.9	14.1	12.1	0.0	18.8	10.1	18.4
わからない	12.2	11.1	13.5	0.0	4.0	13.6	23.7
その他	10.3	11.1	9.4	25.0	9.9	10.5	10.5
不明	0.5	0.5	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「男性の育児休暇取得の推進」「商業施設の充実」などが高く、『20歳代』では「商業施設の充実」が高く、『30歳代』では「仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進」「教育環境の充実」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする	54.9	44.4	59.6	60.6	52.9	50.8	52.8	56.7
公共施設の利用料を子どもは無料にする	21.1	22.2	25.5	18.2	20.0	27.0	12.5	24.4
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	16.4	27.8	23.4	19.7	12.9	14.3	15.3	13.3
保育施設や放課後児童クラブの充実	34.7	27.8	40.4	31.8	37.1	30.2	36.1	35.6
待機児童の解消	23.5	33.3	19.1	24.2	18.6	23.8	25.0	25.6
一時保育や病児保育などの保育サービスの充実	43.0	38.9	44.7	42.4	34.3	47.6	44.4	45.6
子育てについて気軽に相談できる場所の充実	17.1	5.6	14.9	15.2	22.9	19.0	11.1	21.1
子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実	20.2	11.1	4.3	21.2	18.6	25.4	19.4	27.8
仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進	37.8	16.7	38.3	50.0	25.7	31.7	45.8	40.0
男性の育児休暇取得の推進	26.5	50.0	29.8	15.2	22.9	22.2	27.8	33.3
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実	24.2	22.2	29.8	34.8	25.7	20.6	25.0	14.4
教育環境の充実	35.4	33.3	25.5	45.5	38.6	36.5	31.9	33.3
小児医療機関の充実	31.0	16.7	21.3	33.3	37.1	27.0	30.6	35.6
商業施設の充実	12.9	38.9	27.7	13.6	11.4	9.5	4.2	10.0
わからない	12.2	11.1	6.4	6.1	10.0	20.6	12.5	15.6
その他	10.3	5.6	0.0	15.2	11.4	11.1	16.7	6.7
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする」「教育環境の充実」などが高く、『松永』では「一時保育や病児保育などの保育サービスの充実」などが高く、『東部』では「仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進」が高く、『神辺』では「親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする	54.9	54.0	70.0	47.4	50.7	64.8	50.0	50.0	33.3
公共施設の利用料を子どもは無料にする	21.1	21.2	16.7	10.5	20.9	25.9	20.0	25.0	33.3
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	16.4	15.9	26.7	21.1	16.4	13.0	12.5	20.8	0.0
保育施設や放課後児童クラブの充実	34.7	37.0	36.7	26.3	32.8	33.3	32.5	33.3	33.3
待機児童の解消	23.5	23.8	20.0	15.8	26.9	14.8	27.5	37.5	0.0
一時保育や病児保育などの保育サービスの充実	43.0	40.7	43.3	68.4	41.8	46.3	40.0	41.7	33.3
子育てについて気軽に相談できる場所の充実	17.1	14.8	13.3	21.1	20.9	16.7	25.0	16.7	0.0
子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実	20.2	19.6	20.0	36.8	16.4	22.2	27.5	8.3	0.0
仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進	37.8	38.6	20.0	47.4	43.3	48.1	22.5	37.5	0.0
男性の育児休暇取得の推進	26.5	24.9	33.3	31.6	29.9	27.8	27.5	12.5	33.3
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実	24.2	28.0	20.0	21.1	14.9	24.1	35.0	12.5	0.0
教育環境の充実	35.4	36.5	56.7	21.1	34.3	37.0	35.0	16.7	0.0
小児医療機関の充実	31.0	31.2	30.0	36.8	37.3	27.8	27.5	25.0	0.0
商業施設の充実	12.9	12.7	13.3	10.5	10.4	16.7	12.5	8.3	66.7
わからない	12.2	9.5	13.3	10.5	14.9	16.7	7.5	20.8	33.3
その他	10.3	10.6	16.7	5.3	7.5	9.3	12.5	12.5	0.0
不明	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「教育環境の充実」「子育てについて気軽に相談できる場所の充実」が高く、『自営業』では「保育施設や放課後児童クラブの充実」「公共施設の利用料を子どもは無料にする」「妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある」が高く、『学生』では「男性の育児休暇取得の推進」「商業施設の充実」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする	54.9	57.6	56.0	51.4	54.7	48.1	53.9
公共施設の利用料を子どもは無料にする	21.1	18.0	14.0	34.3	27.9	29.6	15.7
妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある	16.4	19.4	10.0	31.4	9.3	25.9	13.5
保育施設や放課後児童クラブの充実	34.7	32.4	36.0	45.7	36.0	33.3	32.6
待機児童の解消	23.5	20.9	20.0	28.6	22.1	25.9	28.1
一時保育や病児保育などの保育サービスの充実	43.0	42.4	44.0	45.7	47.7	33.3	40.4
子育てについて気軽に相談できる場所の充実	17.1	15.8	28.0	20.0	14.0	7.4	18.0
子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実	20.2	15.1	22.0	28.6	19.8	11.1	27.0
仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進	37.8	36.0	42.0	34.3	40.7	22.2	41.6
男性の育児休暇取得の推進	26.5	23.0	30.0	17.1	30.2	40.7	25.8
親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実	24.2	26.6	22.0	22.9	23.3	22.2	23.6
教育環境の充実	35.4	30.9	50.0	40.0	40.7	29.6	29.2
小児医療機関の充実	31.0	28.8	26.0	31.4	34.9	22.2	36.0
商業施設の充実	12.9	11.5	4.0	20.0	15.1	37.0	7.9
わからない	12.2	12.2	8.0	11.4	12.8	11.1	14.6
その他	10.3	10.1	14.0	8.6	8.1	3.7	13.5
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.1

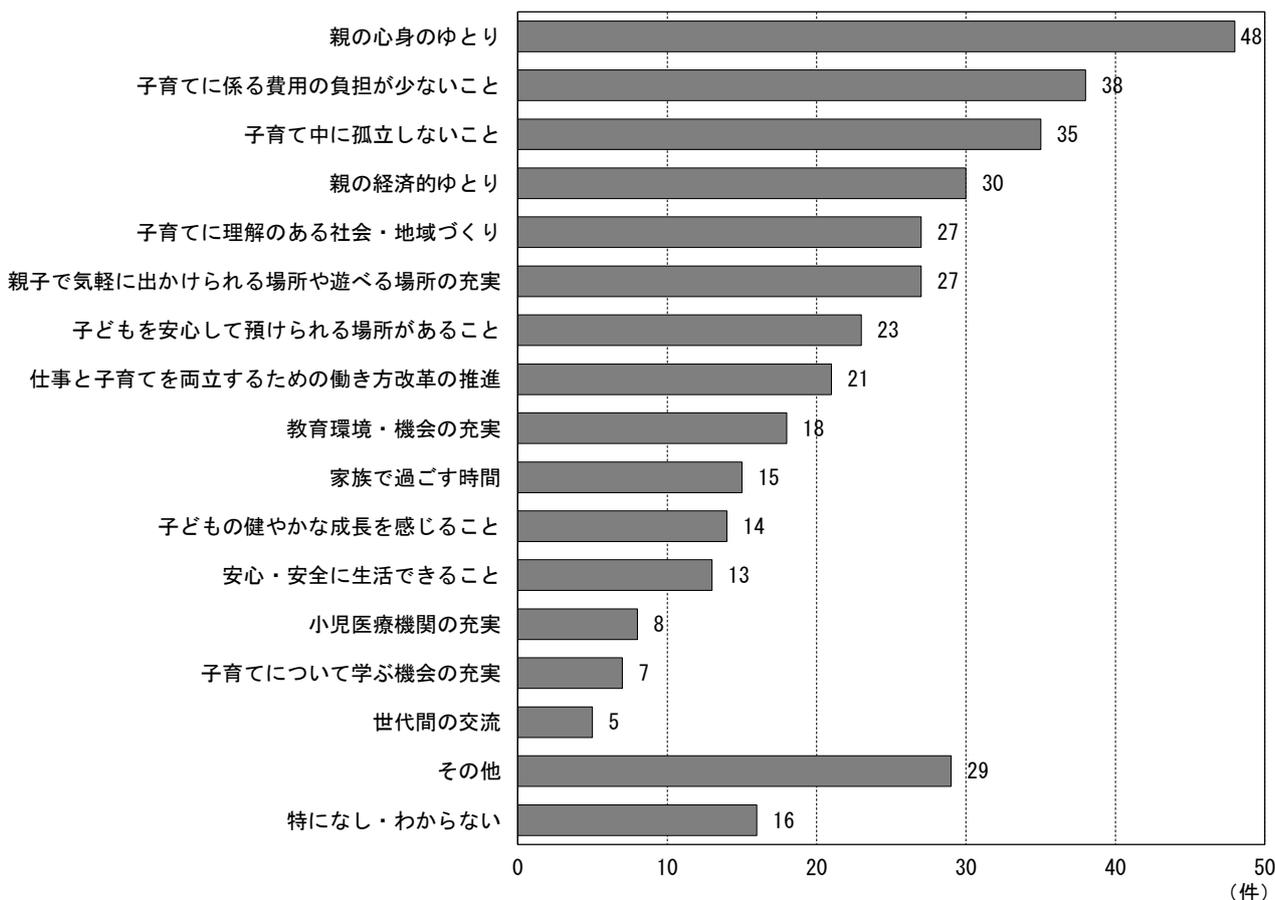
問5

子育てに喜びや幸せを感じるために必要だと思うことがありましたらお答えください。
【自由記述】

【回答者全体】

「親の心身のゆとり」に関する内容が48件と最も多くなっています。次いで、「子育てに係る費用の負担が少ないこと」(38件)、「子育て中に孤立しないこと」(35件)などとなっています。

図表 3-5 子育てに喜びや幸せを感じるために必要だと思うことについて



図表 3-6 子育てに喜びや幸せを感じるために必要だと思うことについての主な意見

親の心身のゆとり (48件)

自由記述	性別	年代	エリア
心のゆとり	女性	20歳代	北部
心身ともに健康であること。	男性	30歳代	中部
親の考え方で子育てに喜びや幸せを感じることはできると思います。母親(父親)の心のケアなどがあると良いかなと思います。	女性	30歳代	中部
食事が思ったように取れる事	女性	40歳代	南部
子育てに対する余暇時間がある。	男性	60歳代	北部
親が幸せを感じられる生活ができていくこと(心身共に、経済的にも！)	女性	70歳以上	南部

子育てに係る費用の負担が少ないこと (38件)

自由記述	性別	年代	エリア
お金。例えば児童手当を市からもだすとか。福山市内のアカチャンホンポやベビザラスなどで使えるクーポンを配布するとか。医療費無料だが、たまに薬の「容器代」を支払うことになるので、そこまで市から薬局に負担するとか。	女性	20歳代	中部
金銭面と教育面で負担を減らしたら子供達に使えるお金も時間も増えて喜びや幸せにつながると思う	男性	30歳代	中部
障害のある子ども、に対しての補助金や支援機関の紹介を、わかりやすく告知してほしい 障害や難病がある子供がいる家庭は、通院費や薬代がかかるため	男性	40歳代	北部
高校までは無償で教育を受けられる。	男性	50歳代	中部
保育料などの子を育てる上で家庭負担を極力少なくしてほしい。	女性	70歳以上	東部

子育て中に孤立しないこと (35件)

自由記述	性別	年代	エリア
孤立しない、相談や共感できる人がいること。	女性	10歳代	東部
ワンオペ育児など、1人の親だけに負担がかかるのではなく夫婦、その両親、地域と家庭・社会全体で子育てできる環境であること。	女性	20歳代	中部
支援センターがたくさんあると、交流ができて友人も増える	男性	30歳代	中部
こそだては孤独です 体験の話をきいたりママともを作る機会があればいいと思う	女性	40歳代	神辺
地域の人達と気軽に話し合える場所があると良いと思う	女性	70歳以上	中部

親の経済的ゆとり (30件)

自由記述	性別	年代	エリア
お金の不安がなければいいと思う	女性	20歳代	中部
子どもに関わることにお金のことで我慢しなくて良い。	女性	30歳代	神辺
金銭面で子育てを諦めたり子どもたちの進路ややりたい事を制限しなくて良いようにすること。経済的な支援は親に気持ちや時間に余裕が生まれ、それが子どもたちがより良く学べ環境につながる。やりたいことができる、自己実現できることで大人も子どもも幸せを感じることができるようになる。	女性	40歳代	松永
子育て世代が経済的に安心して生活が出来る環境づくりが必要だと思う。	男性	60歳代	中部
親たちの可処分所得の充実	男性	70歳以上	中部

子育てに理解のある社会・地域づくり (27件)

自由記述	性別	年代	エリア
子どもを連れていても行動しやすい街に行くと迎えられている気がして嬉しい 子どもがいることにありがたみを感じる	女性	20歳代	東部
子どもが苦手な人もいるとは思いますが、近所や地域の人達のちょっとした優しさ・気遣いがあれば良い。	男性	40歳代	北部
近くに頼れる祖父母がいなくても安心して子育てができる環境があるようにすること。	女性	50歳代	北部
地域住民とのコミュニケーションと見守りと思う。	男性	70歳以上	東部

親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実（27件）

自由記述	性別	年代	エリア
外で自由に遊べる充実した施設等がもう少しあればいいかと思います。少しずつ増えてきたので嬉しく思っています。	男性	30歳代	中部
小学校の体験学習（山、海、島）の様なことを家族でもできるような施設が充実すれば、ゲーム社会になっている子供達ものびのび育ち成長できるのではないかと。親や年寄りも楽しめる。	男性	40歳代	東部
気軽に安価に子どもを連れて遊びに行ける場所の充実。	女性	50歳代	松永
親子で遊ぶ事が出来る遊園地の様な広場が欲しい（数が少ないのでは）	女性	70歳以上	神辺

子どもを安心して預けられる場所があること（23件）

自由記述	性別	年代	エリア
母親の体調不良のときに、子供をみてくれるベビーシッターがあれば助かります！ 3歳くらいまで、一年一回くらいの頻度でいいので、無料で来てくれるサービスがほしい！	女性	30歳代	南部
保護者が子どもを少しの時間預けて、買い物をしたり、家事をしたり、気分転換できる時間を持てるようなサービスが必要。	女性	40歳代	東部
安心して働くための保育の充実	男性	60歳代	南部
仕事を持っていて急に遅くなる場合、延長保育等が容易に受け入れを出来た時、いいなと思う時がある	男性	70歳以上	東部

仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進（21件）

自由記述	性別	年代	エリア
子どもと親が一緒に時間を過ごすことが必要だと思う。そのための公園や施設が必要だし、そのための働き方改革で生活残業なんかなくても生活には困らない世の中であってほしい。	男性	30歳代	東部
子どもと接する時間が容易に確保できる環境が必要と考えます。この時間を確保するためには、働き方改革が最も重要であり、特に父親が子供と関わる時間確保ができることが望ましいと考えます。	男性	40歳代	中部
子育てしながら働けるよう会社の理解が不可欠だと思う。	女性	50歳代	北部
パートは子供が病気の時は休みをもっと自由にとらせてあげたい。人手不足と言って休めない時がある。	男性	70歳以上	北部

教育環境・機会の充実（18件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山市は小さい子どもばかりに目がいき中学年代への配慮不足を感じています。 学びの場に差がありすぎませんか？ 人気中学校には理由があります。 義務教育でこの差はあってはいけないと思います。	女性	30歳代	中部
子供と共に笑い合えるよう親の金銭的負担や職場環境整備、医療や放課後児童クラブ、引きこもりになってる子へのアフターケアなどをもっと充実させてほしい。 フリースクールも小学生は送迎しないといけないとかは負担が多いのと施設も少なく不便。	女性	40歳代	中部
公立の学校の教育の充実が必要。学力の低さ等は保護者が口にしてののをよく耳にする。	女性	60歳代	神辺

家族で過ごす時間（15件）

自由記述	性別	年代	エリア
家族と過ごせる時間を増やすこと。	女性	20歳代	中部
子供とのんびり過ごす時間や心の余裕	女性	30歳代	北部
普通の生活で時間を共有する	男性	40歳代	東部

子どもの健やかな成長を感じる（14件）

自由記述	性別	年代	エリア
子育ての喜びはこどもの成長	女性	20歳代	南部
ひとりひとりの成長を感じられること。	女性	30歳代	中部
親子で参加でき、成長を感じることができる場の提供。	男性	50歳代	中部

安心・安全に生活できること（13件）

自由記述	性別	年代	エリア
安心、安全なまちづくり。	男性	50歳代	中部
社会が平和でおだやかな状態	女性	60歳代	中部
地産産業が栄え、家庭収入が増え、住民税、健康保険料などが安く子供達が安全・安心して学べる町であること	男性	70歳以上	中部

小児医療機関の充実（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
いつも笑顔でいられる事。困ったときに24時間連絡対応してくれる公共施設がある。現在、共働きはもちろん、両親も共働きの時代なので、木曜日の午後や夜間診療が始まる18～19時迄等、隙間なく医療機関対応を希望。二人目を産む時の不安が少ない街。	男性	30歳代	南部
短時間で行ける、福山市内の医療機関（NICUの新設）の充実	男性	40歳代	中部

子育てについて学ぶ機会の充実（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
子どもとの接し方や育て方を知ること。	男性	20歳代	中部
親たちの育成ミニセミナー（多数回）。	女性	60歳代	中部

世代間の交流（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
三世代、四世代での交流。	男性	50歳代	東部

その他（29件）

自由記述	性別	年代	エリア
子育て世帯の愚痴を聞いて、結婚や子育てに魅力を感じてない若者が多いのでなるべく若い人の前で大変だと愚痴をこぼさないようにしていますが実際に仕事と育児の両立はかなり難しい。	男性	30歳代	中部
地域から愛される子ども・家庭になるために地域活動に積極的に参加できる環境づくりが必要。	男性	60歳代	中部
幸せは、何気ない時に感じるように思います	女性	60歳代	中部

(2) 市政モニター制度について

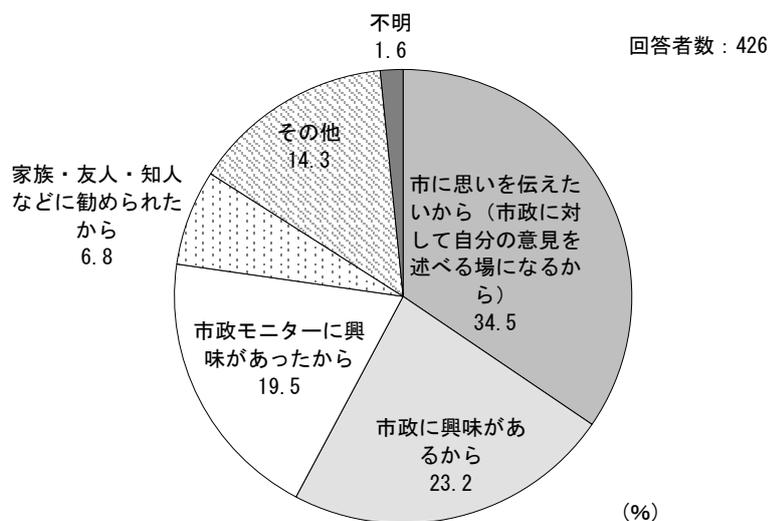
問 1

市政モニターに登録した理由について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。
【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）」が34.5%と最も高く、次いで、「市政に興味があるから」（23.2%）、「市政モニターに興味があったから」（19.5%）となっています。

図表 3-7 市政モニターに登録した理由



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
たまたま選ばれたから	女性	10 歳代	中部
市政モニター無作為抽出協力調査が届いたため。	女性	20 歳代	北部
自分が生まれ育った街をより良くしたいから。	男性	30 歳代	中部
福山市が好きだから	女性	40 歳代	中部
登録したくなかったが選ばれたのであれば仕方ないと思った	女性	50 歳代	中部
登録した記憶がないのですが、無作為に選ばれたのが強制的にモニターになると勘違いし書類を提出した。書類の確認不足でした。	女性	60 歳代	松永
地元生まれ地元で育っているのに、時は変わり私が市についてどれだけ知っているか、どれだけ理解できるのか知りたかった	女性	70 歳以上	神辺

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
市政に興味があるから	23.2	28.1	19.3	0.0	18.8	25.1	21.1
市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）	34.5	34.2	35.0	25.0	52.5	30.0	21.1
家族・友人・知人などに勧められたから	6.8	6.0	7.6	0.0	3.0	8.4	5.3
市政モニターに興味があったから	19.5	19.6	18.8	50.0	13.9	19.2	36.8
その他	14.3	10.6	17.9	0.0	11.9	15.0	15.8
不明	1.6	1.5	1.3	25.0	0.0	2.4	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「家族・友人・知人などに勧められたから」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
市政に興味があるから	23.2	22.2	25.5	15.2	25.7	22.2	27.8	23.3
市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）	34.5	5.6	34.0	40.9	44.3	25.4	33.3	35.6
家族・友人・知人などに勧められたから	6.8	27.8	6.4	3.0	5.7	6.3	6.9	6.7
市政モニターに興味があったから	19.5	22.2	23.4	18.2	12.9	27.0	18.1	18.9
その他	14.3	22.2	10.6	22.7	11.4	19.0	11.1	10.0
不明	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「その他」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
市政に興味があるから	23.2	24.9	20.0	15.8	22.4	18.5	25.0	29.2	33.3
市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）	34.5	34.9	43.3	26.3	31.3	37.0	32.5	33.3	33.3
家族・友人・知人などに勧められたから	6.8	4.2	3.3	10.5	11.9	11.1	7.5	4.2	0.0
市政モニターに興味があったから	19.5	22.8	13.3	10.5	16.4	20.4	17.5	20.8	0.0
その他	14.3	12.2	20.0	36.8	16.4	11.1	12.5	8.3	33.3
不明	1.6	1.1	0.0	0.0	1.5	1.9	5.0	4.2	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「市政に興味があるから」が高く、『学生』では「家族・友人・知人などに勧められたから」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
市政に興味があるから	23.2	21.6	16.0	37.1	20.9	25.9	25.8
市に思いを伝えたいから（市政に対して自分の意見を述べる場になるから）	34.5	32.4	44.0	42.9	33.7	11.1	37.1
家族・友人・知人などに勧められたから	6.8	6.5	2.0	5.7	9.3	22.2	3.4
市政モニターに興味があったから	19.5	22.3	22.0	8.6	20.9	22.2	15.7
その他	14.3	17.3	16.0	5.7	11.6	18.5	13.5
不明	1.6	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	4.5

問 2

市政モニターとしてこれまでアンケートに回答してきて、どうでしたか。次の①～⑮についてそれぞれ当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

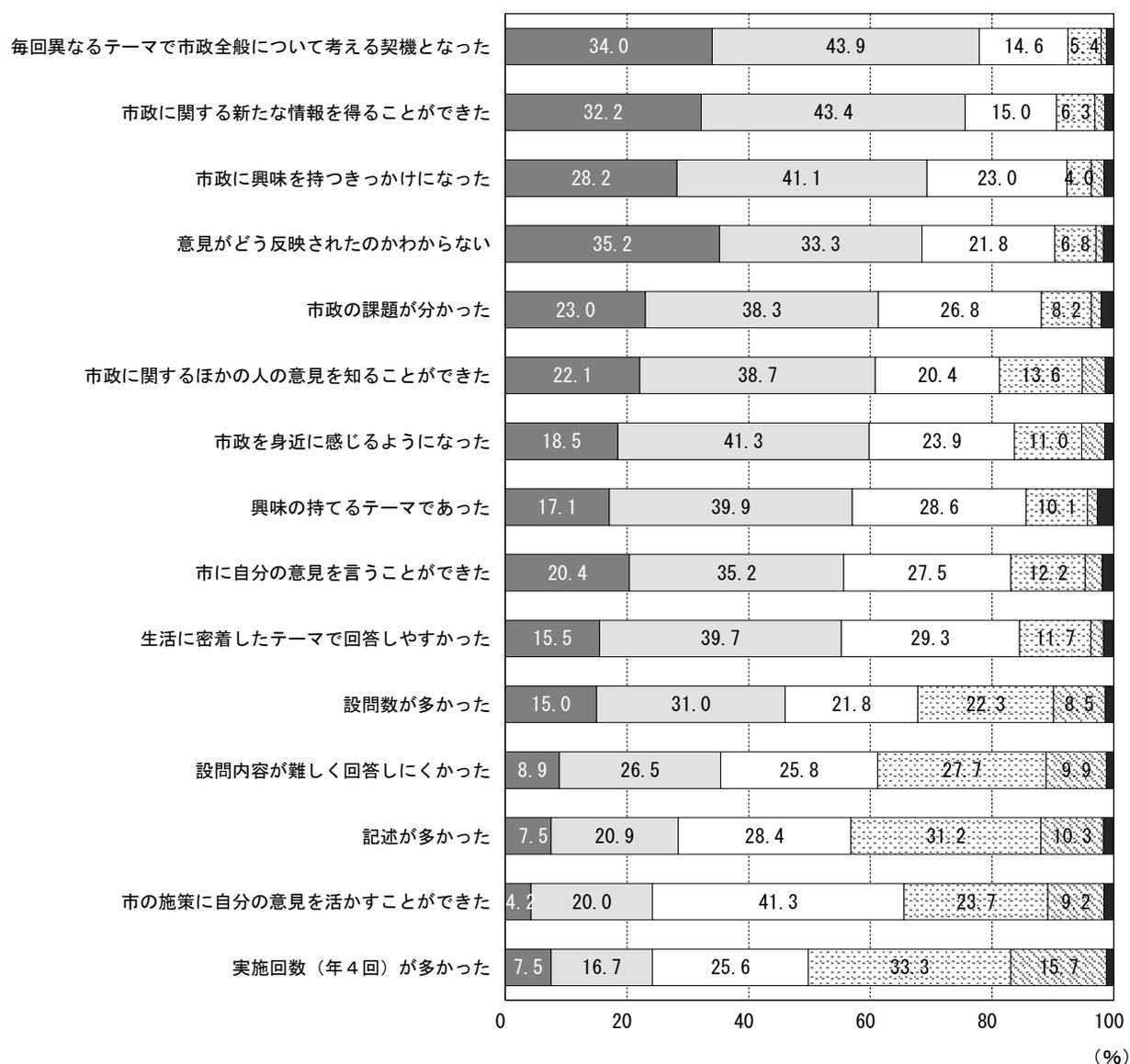
【回答者全体】

回答者全体では、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合は、「毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった」が77.9%と最も高くなっています。次いで、「市政に関する新たな情報を得ることができた」（75.6%）、「市政に興味を持つきっかけになった」（69.3%）、「意見がどう反映されたのかわからない」（68.5%）となっています。

図表 3-8 市政モニターとしてこれまでアンケートに回答してきた感想

回答者数：426

■そう思う □ややそう思う □どちらとも言えない □あまりそう思わない □まったく思わない ■不明



【属性別】

性別で、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合をみると、回答者全体と比較して、『女性』で「設問数が多かった」「設問内容が難しく回答しにくかった」が高くなっています。

子育て世帯別で、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合をみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「市政に興味を持つきっかけになった」「意見がどう反映されたのかわからない」などが高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	394	182	209	3	96	264	34
生活に密着したテーマで回答しやすかった	59.6	59.3	59.3	100.0	62.5	59.8	50.0
毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった	84.3	80.8	87.1	100.0	83.3	84.1	88.2
市政の課題が分かった	66.2	67.0	65.1	100.0	67.7	64.4	76.5
興味を持てるテーマであった	61.7	66.5	56.9	100.0	71.9	57.6	64.7
市政に関する新たな情報を得ることができた	81.7	78.6	84.2	100.0	84.4	80.7	82.4
市に自分の意見を言うことができた	60.2	62.6	57.4	100.0	66.7	58.0	58.8
市政に興味を持つきっかけになった	74.9	71.4	77.5	100.0	83.3	72.3	70.6
市政に関するほかの人の意見を知ることができた	65.7	63.2	67.5	100.0	65.6	67.0	55.9
市政を身近に感じるようになった	64.7	63.7	65.1	100.0	69.8	64.8	50.0
市の施策に自分の意見を活かすことができた	26.1	26.4	24.9	100.0	28.1	25.4	26.5
実施回数（年4回）が多かった	26.1	23.1	29.2	0.0	30.2	23.5	35.3
設問数が多かった	49.7	42.9	56.0	33.3	57.3	46.2	55.9
記述が多かった	30.7	26.9	34.0	33.3	33.3	30.3	26.5
設問内容が難しく回答しにくかった	38.3	30.8	45.5	0.0	37.5	38.6	38.2
意見がどう反映されたのかわからない	74.1	74.7	74.2	33.3	83.3	72.7	58.8

年代別で、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合をみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「市政に関する新たな情報を得ることができた」「設問数が多かった」「実施回数（年4回）が多かった」などが高く、『20歳代』『30歳代』では「市に自分の意見を言うことができた」「設問数が多かった」などが高く、『50歳代』では「市政の課題が分かった」などが高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	394	16	44	64	67	55	65	83
生活に密着したテーマで回答しやすかった	59.6	56.3	59.1	64.1	59.7	58.2	69.2	50.6
毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった	84.3	87.5	90.9	79.7	73.1	89.1	86.2	88.0
市政の課題が分かった	66.2	68.8	65.9	67.2	61.2	76.4	64.6	63.9
興味を持てるテーマであった	61.7	50.0	56.8	68.8	68.7	61.8	66.2	51.8
市政に関する新たな情報を得ることができた	81.7	93.8	88.6	82.8	80.6	89.1	75.4	75.9
市に自分の意見を言うことができた	60.2	68.8	79.5	71.9	61.2	61.8	50.8	44.6
市政に興味を持つきっかけになった	74.9	62.5	84.1	76.6	76.1	78.2	70.8	71.1
市政に関するほかの人の意見を知ることができた	65.7	37.5	75.0	64.1	64.2	74.5	63.1	65.1
市政を身近に感じるようになった	64.7	62.5	65.9	64.1	70.1	67.3	63.1	60.2
市の施策に自分の意見を活かすことができた	26.1	43.8	36.4	28.1	25.4	27.3	20.0	20.5
実施回数（年4回）が多かった	26.1	50.0	20.5	31.3	20.9	25.5	26.2	25.3
設問数が多かった	49.7	75.0	65.9	64.1	38.8	61.8	40.0	33.7
記述が多かった	30.7	43.8	22.7	46.9	22.4	38.2	27.7	24.1
設問内容が難しく回答しにくかった	38.3	43.8	50.0	46.9	29.9	47.3	29.2	32.5
意見がどう反映されたのかわからない	74.1	75.0	75.0	76.6	80.6	76.4	72.3	66.3

エリア別で、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合をみると、回答者全体と比較して、『南部』では「設問数が多かった」「設問内容が難しく回答しにくかった」などが高く、『松永』では「市政の課題が分かった」が高く、『東部』では「市政に関するほかの人の意見を知ることができた」が高く、『神辺』では「市政に関する新たな情報を得ることができた」「市政を身近に感じるようになった」などが高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	394	175	27	19	60	51	37	22	3
生活に密着したテーマで回答しやすかった	59.6	69.1	48.1	42.1	55.0	49.0	62.2	54.5	0.0
毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった	84.3	88.6	81.5	73.7	78.3	82.4	89.2	72.7	100.0
市政の課題が分かった	66.2	70.9	59.3	78.9	50.0	66.7	62.2	77.3	66.7
興味を持てるテーマであった	61.7	70.3	44.4	52.6	60.0	47.1	64.9	59.1	33.3
市政に関する新たな情報を得ることができた	81.7	82.9	77.8	73.7	76.7	82.4	91.9	86.4	33.3
市に自分の意見を言うことができた	60.2	64.6	63.0	31.6	58.3	60.8	43.2	77.3	66.7
市政に興味を持つきっかけになった	74.9	79.4	66.7	68.4	63.3	78.4	73.0	81.8	66.7
市政に関するほかの人の意見を知ることができた	65.7	67.4	51.9	57.9	61.7	76.5	62.2	72.7	33.3
市政を身近に感じるようになった	64.7	66.9	55.6	52.6	65.0	58.8	78.4	63.6	33.3
市の施策に自分の意見を活かすことができた	26.1	29.1	29.6	21.1	20.0	27.5	21.6	27.3	0.0
実施回数（年4回）が多かった	26.1	20.6	33.3	31.6	33.3	23.5	32.4	36.4	0.0
設問数が多かった	49.7	44.0	70.4	57.9	51.7	39.2	64.9	63.6	0.0
記述が多かった	30.7	26.3	40.7	36.8	30.0	31.4	37.8	36.4	33.3
設問内容が難しく回答しにくかった	38.3	30.9	59.3	42.1	46.7	43.1	40.5	36.4	0.0
意見がどう反映されたのかわからない	74.1	77.1	74.1	73.7	75.0	66.7	64.9	81.8	66.7

職業別で、思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答された割合をみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「設問内容が難しく回答しにくかった」が高く、『自営業』では「意見がどう反映されたのかわからない」が高く、『学生』では「毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった」「市政に関する新たな情報を得ることができた」などが高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	394	130	47	31	84	25	77
生活に密着したテーマで回答しやすかった	59.6	63.1	55.3	54.8	63.1	52.0	57.1
毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった	84.3	80.0	87.2	77.0	91.7	96.0	83.1
市政の課題が分かった	66.2	66.9	72.3	58.1	69.0	68.0	61.0
興味を持てるテーマであった	61.7	63.1	66.0	64.5	58.3	52.0	62.3
市政に関する新たな情報を得ることができた	81.7	82.3	83.0	74.2	85.7	92.0	75.3
市に自分の意見を言うことができた	60.2	66.2	66.0	51.6	47.6	76.0	58.4
市政に興味を持つきっかけになった	74.9	76.2	74.5	83.9	75.0	68.0	71.4
市政に関するほかの人の意見を知ることができた	65.7	69.2	66.0	58.1	65.5	52.0	67.5
市政を身近に感じるようになった	64.7	67.7	61.7	64.5	69.0	72.0	54.5
市の施策に自分の意見を活かすことができた	26.1	23.1	19.1	22.6	25.0	48.0	31.2
実施回数（年4回）が多かった	26.1	25.4	27.7	25.8	27.4	32.0	23.4
設問数が多かった	49.7	56.9	51.1	41.9	44.0	64.0	41.6
記述が多かった	30.7	34.6	27.7	25.8	34.5	32.0	23.4
設問内容が難しく回答しにくかった	38.3	43.1	48.9	38.7	36.9	36.0	26.0
意見がどう反映されたのかわからない	74.1	79.2	78.7	87.1	65.5	72.0	67.5

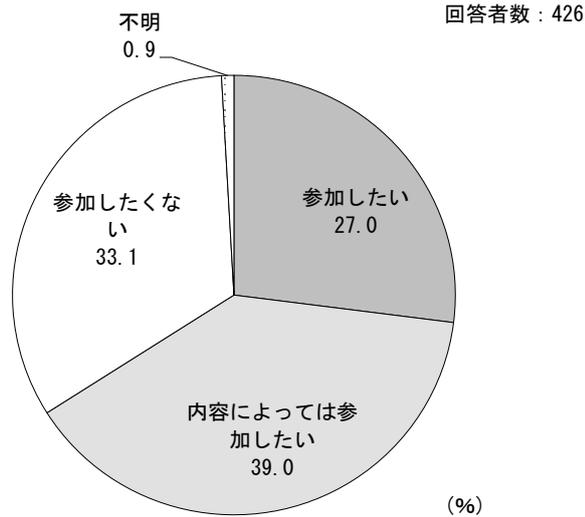
問3-1

これまで電子申請と郵送でアンケートを実施してきましたが、集約までに時間がかかっていました。今後、市公式LINEを活用したアンケートを検討していますが、参加をしたいと思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「内容によっては参加したい」が39.0%と最も高く、次いで、「参加したくない」(33.1%)、「参加したい」(27.0%)となっています。

図表3-9 市公式LINEを活用したアンケートへの参加の意向



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「参加したくない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』では「参加したい」が高く、『いいえ（子育て世帯以外）』では「参加したくない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	426	199	223	4	101	287	38
参加したい	27.0	25.6	28.7	0.0	39.6	24.0	15.8
内容によっては参加したい	39.0	33.7	43.0	75.0	43.6	36.2	47.4
参加したくない	33.1	39.2	27.8	25.0	16.8	38.7	34.2
不明	0.9	1.5	0.4	0.0	0.0	1.0	2.6

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「内容によっては参加したい」が高く、『20歳代』では「参加したい」が高く、『70歳以上』では「参加したくない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	426	18	47	66	70	63	72	90
参加したい	27.0	11.7	59.6	24.2	34.3	28.6	20.8	13.3
内容によっては参加したい	39.0	50.0	29.8	48.5	38.6	44.4	37.5	32.2
参加したくない	33.1	38.9	10.6	27.3	27.1	27.0	41.7	50.0
不明	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『北部』で「参加したくない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	426	189	30	19	67	54	40	24	3
参加したい	27.0	31.7	23.3	21.1	13.4	31.5	27.5	25.0	33.3
内容によっては参加したい	39.0	40.7	46.7	42.1	37.3	33.3	32.5	45.8	0.0
参加したくない	33.1	27.0	30.0	36.8	46.3	33.3	40.0	29.2	66.7
不明	0.9	0.5	0.0	0.0	3.0	1.9	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『その他』で「参加したくない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	426	139	50	35	86	27	89
参加したい	27.0	33.8	36.0	31.4	20.9	29.6	14.6
内容によっては参加したい	39.0	41.7	32.0	45.7	37.2	40.7	37.1
参加したくない	33.1	24.5	32.0	22.9	39.5	29.6	46.1
不明	0.9	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.2

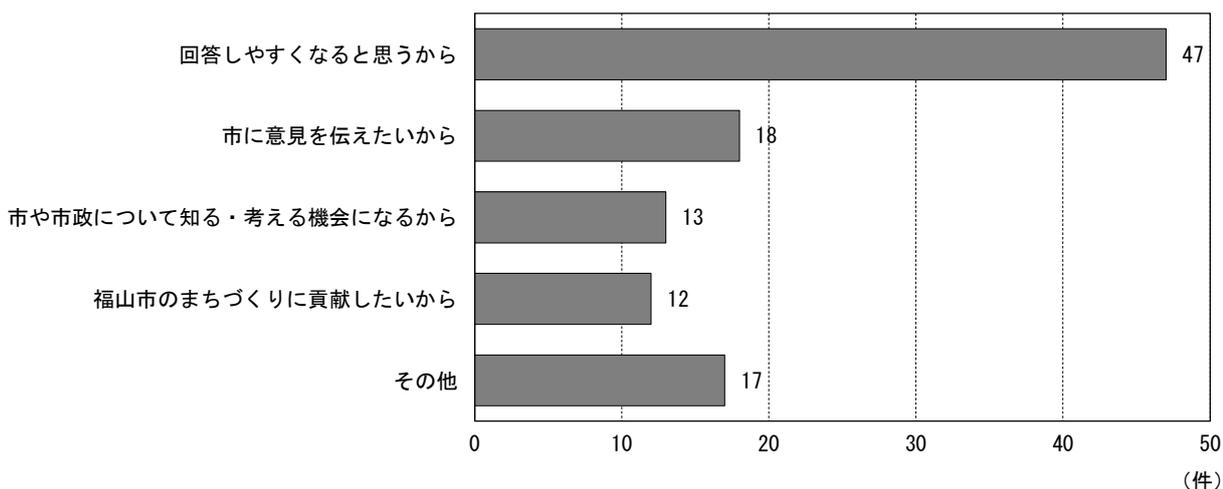
問3-2

「参加したい」「内容によっては参加したい」「参加したくない」を選んだ理由を自由記述欄に記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

市公式LINEを活用したアンケートに「参加したい」と回答した理由をみると、「回答しやすくなると思うから」に関する内容が47件と顕著に多くなっています。

図表3-10 市公式LINEを活用したアンケートに「参加したい」と回答した理由



図表3-11 市公式LINEを活用したアンケートに「参加したい」と回答した理由の主な意見

回答しやすくなると思うから (47件)

自由記述	性別	年代	エリア
手軽だから。全体的に回答率もあがると思う	女性	20歳代	中部
時間、場所を問わず解答でき便利だから。	男性	30歳代	中部
電子申請だと、アンケートまでにかかるステップが多いから、後でしようと思って忘れることが多いので、ラインだと簡単にできると思う。	女性	40歳代	中部
LINEは今より、より簡単に返信できそう	女性	50歳代	東部
簡単にアンケートに回答出来る	男性	60歳代	中部
今までよりわかりやすくなると思う	女性	70歳以上	北部

市に意見を伝えたいから (18件)

自由記述	性別	年代	エリア
気軽に市に意見をいう場は必要であると思うので。	女性	20歳代	南部
今後も色々と良くなるように粘り強く思いを伝えたいからです。	女性	30歳代	中部
市政に色々な意見を反映して頂きたいので参加したい	男性	60歳代	中部

市や市政について知る・考える機会になるから (13件)

自由記述	性別	年代	エリア
市がどのような取り組みをしているかを知れるから	女性	20歳代	中部
引き続き市政について考えていきたい。	女性	40歳代	北部
市政の目指すもの、問題点などが分かるため。	男性	70歳以上	東部

福山市のまちづくりに貢献したいから (12件)

自由記述	性別	年代	エリア
今後共、住みやすい、働きやすい、幸せ追求が可能な街になればと願って！	男性	20歳代	中部
福山に住んでいるのにあまり魅力を感じていなかった。今回参加して頑張っている事を知る事で情報発信していきたい。	女性	50歳代	神辺
今後も、市政の課題に少しでも共有して、関わってゆきたい。また、地域活性化にも微力を発揮したいです。	男性	70歳以上	東部

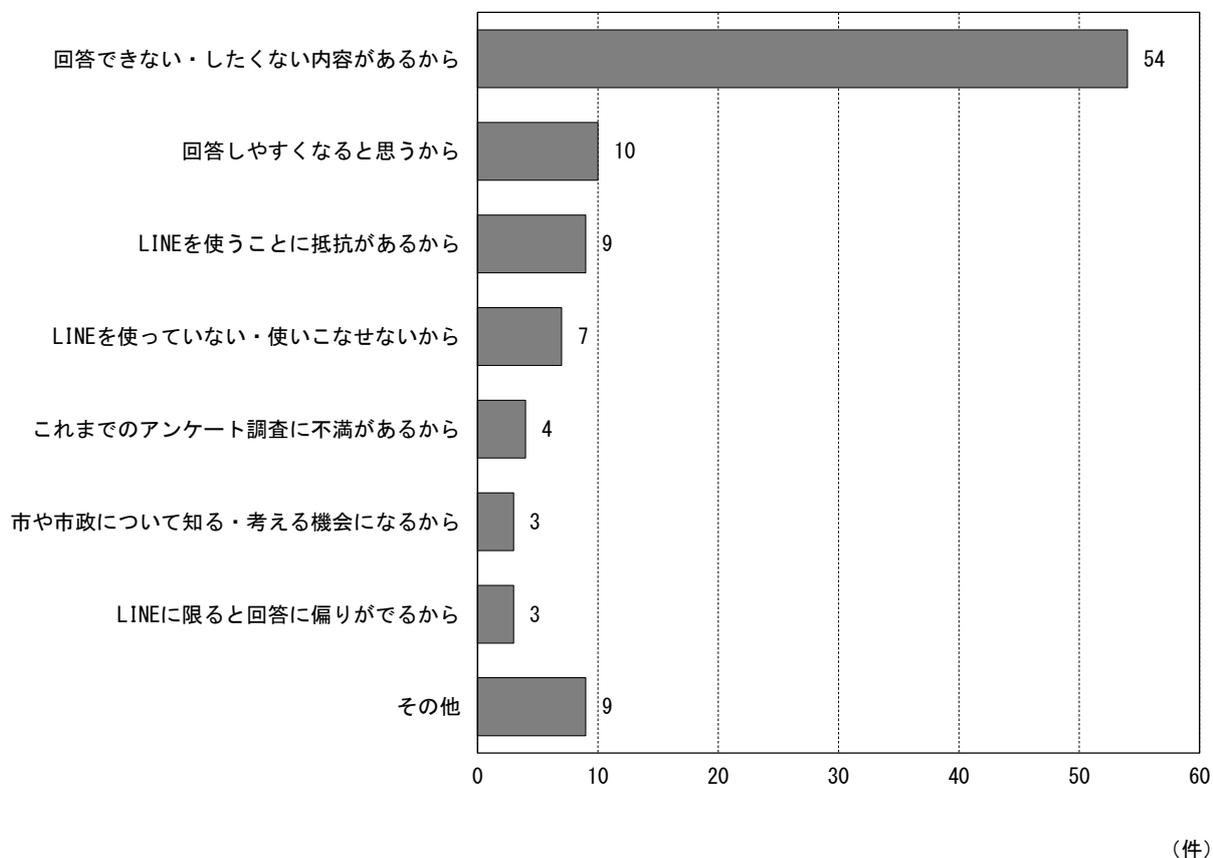
その他 (17件)

自由記述	性別	年代	エリア
現状の回答方法でも、LINEでの新しい回答方法でも、参加したい	女性	20歳代	中部
市政に関わらず、何に関しても「もっとこうしたらいいのにな」と改善点を考える癖があり、提案が好きなので。	女性	40歳代	中部
高齢者の声を聞くためにもLINEだけでなくアンケート調査もあっても良いのではないのでしょうか	女性	70歳以上	神辺

【回答者全体】

市公式LINEを活用したアンケートに「内容によっては参加したい」と回答した理由をみると、「回答できない・したくない内容があるから」に関する内容が54件と顕著に多くなっています。

図表 3-12 市公式LINEを活用したアンケートに「内容によっては参加したい」と回答した理由



図表 3-13 市公式LINEを活用したアンケートに「内容によっては参加したい」と回答した理由の主な意見

回答できない・したくない内容があるから (54件)

自由記述	性別	年代	エリア
自分に関係することなら参加したいから	女性	10歳代	松永
自分の立場では想像できない内容もあったため、興味のある内容であれば参加したい	女性	20歳代	中部
興味の無い分野だと反映されているか分からないから	男性	30歳代	中部
子育てなど、対象になる年齢層が限られるものなど、予めターゲットを絞ると回答しやすいと思います。	女性	40歳代	神辺
世帯別で偏った内容となる場合があるため自分に合ったものであれば意見を述べたい。関係ない事に無責任なことは書けない。	男性	50歳代	中部
テーマや内容について勉強不足で少し難しいものもあった	男性	70歳以上	東部

回答しやすくなると思うから (10件)

自由記述	性別	年代	エリア
LINEの方が気づきやすく手軽にできると思う。記述の入力はPCの方がやりやすい人が多いと思う。	男性	30歳代	中部
LINEだと参加しやすいけど、スルーしてしまう可能性もある	女性	40歳代	神辺
LINEの方が簡単に参加できそうだから、生活に支障が出るようなものは避けたい	女性	50歳代	中部

LINEを使うことに抵抗があるから (9件)

自由記述	性別	年代	エリア
インターネットでも同じことが言えるが、ラインサービスを利用するにあたり安全性が確保できるなら参加したい	女性	20歳代	東部
長文でのコメントが大変なためです。LINEを嫌う人の意見が反映されないの、他のアンケートと併用すべきと思います。	女性	30歳代	中部

LINEを使っていない・使いこなせないから (7件)

自由記述	性別	年代	エリア
スマホを持っていないのでLINEは参加出来ないの平等ではありません。LINEだから返答率が上がるという根拠は薄いと思います。まず市政に興味を持てる雰囲気や意見がどのように使われているのか数値も含めアクションをとってほしい。LINEより現状か郵送が好ましい。	男性	60歳代	北部
パソコンが出来ないので無理かもしれません	女性	70歳以上	中部

これまでのアンケート調査に不満があるから (4件)

自由記述	性別	年代	エリア
設問が多くなく、1テーマで必須項目をパスしても回答ができるアンケートにしてほしい。	男性	70歳以上	中部

市や市政について知る・考える機会になるから (3件)

自由記述	性別	年代	エリア
市政の取り組んでいることが、わかりやすくなるため。	女性	60歳代	神辺

LINEに限ると回答に偏りがでるから (3件)

自由記述	性別	年代	エリア
LINEの使用は一部の意見しか分からない。偏った意見は聞いても意味がない。	男性	70歳以上	北部

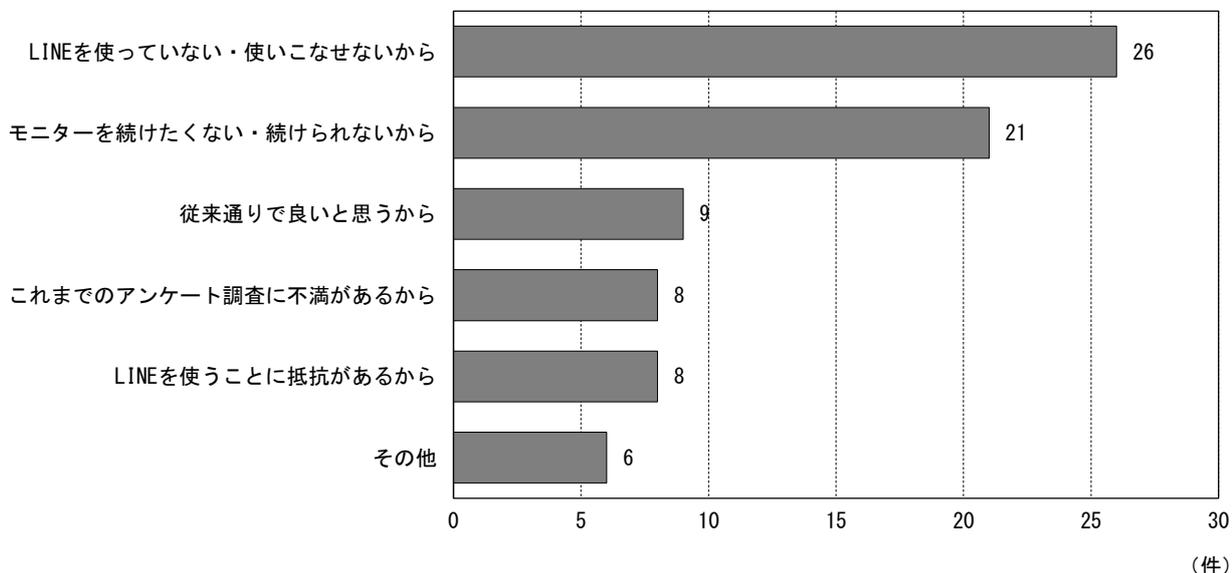
その他 (9件)

自由記述	性別	年代	エリア
リマインドがあれば参加	男性	10歳代	中部
感じたことを直接届ける機会になるから。	女性	40歳代	中部

【回答者全体】

市公式LINEを活用したアンケートに「参加したくない」と回答した理由をみると、「LINEを使っていない・使いこなせないから」に関する内容が26件と最も多く、次いで、「モニターを続けたくない・続けられないから」（21件）などとなっています。

図表 3-14 市公式LINEを活用したアンケートに「参加したくない」と回答した理由



図表 3-15 市公式LINEを活用したアンケートに「参加したくない」と回答した理由の主な意見

LINEを使っていない・使いこなせないから（26件）

自由記述	性別	年代	エリア
スマホからだて入力しにくい	男性	30歳代	中部
LINEをしていないから。	男性	40歳代	南部
LINEの手段がないので参加できない。年寄りだから。	女性	60歳代	神辺
一応スマホは使っているしLINEもしているのですが、使いこなすことは難しいので、出来たら今まで通りがよいのですが・・・	女性	70歳以上	中部

モニターを続けたくない・続けられないから（21件）

自由記述	性別	年代	エリア
来年から就職で福山市を離れるため	男性	10歳代	中部
そもそも、次期以降も市政モニターに参加したいとまでは思わないから。	男性	30歳代	中部
今回モニターさせてもらったので違う方の意見をきかれるのがいいと思います	女性	40歳代	松永
高齢のためこれ以上は無理です	女性	70歳以上	神辺

従来通りで良いと思うから（9件）

自由記述	性別	年代	エリア
従来どおり電子申請と郵送でよい	男性	30歳代	神辺
ゆっくり回答できるので今までどおりで良い	男性	70歳以上	北部

これまでのアンケート調査に不満があるから（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
質問が長くて難しい	女性	50歳代	中部
アンケートに答えたが市政の方針があまり理解出来なかった	男性	60歳代	東部

LINEを使うことに抵抗があるから（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
LINEはプライベートでも仕事でも使用しており、主に連絡用のためアンケートの回答は電子申請のほうが助かります。	男性	30歳代	中部
ラインは情報の漏洩など以前に問題になったことがあったが、何の説明もない。たかがアンケートではあるが、公共の大きな団体がそのようなアプリを使用することが疑問だ。危機管理がないのではないか。	女性	40歳代	中部

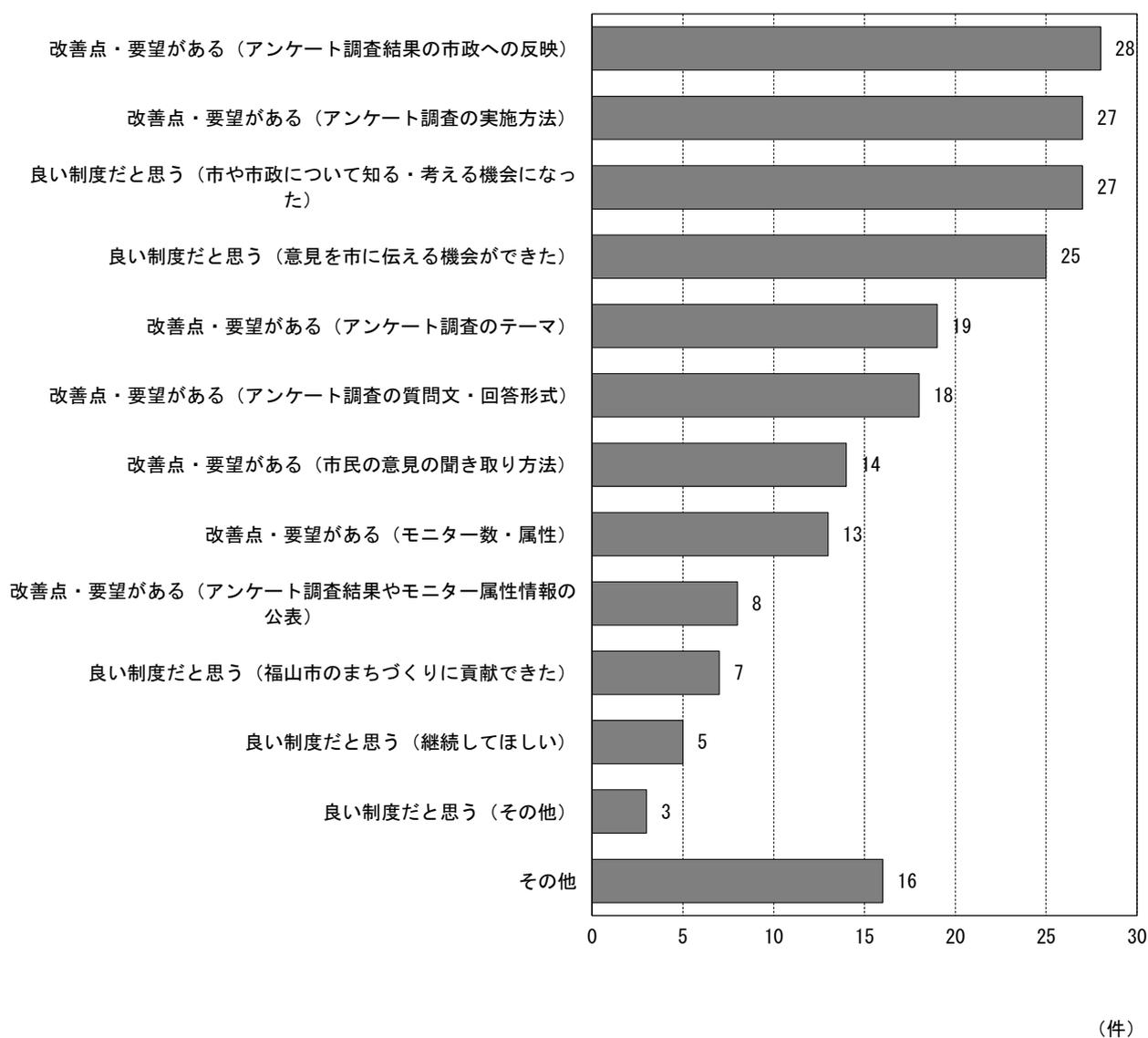
その他（6件）

自由記述	性別	年代	エリア
不要	男性	30歳代	中部
意見があれば市に直接電話したほうがいいかと思うから	女性	50歳代	中部

【回答者全体】

「改善点・要望がある（アンケート調査結果の市政への反映）」に関する内容が28件と最も多くなっています。次いで、「改善点・要望がある（アンケート調査の実施方法）」（27件）、「良い制度だと思う（市や市政について知る・考える機会になった）」（27件）、「良い制度だと思う（意見を市に伝える機会ができた）」（25件）などとなっています。

図表3-16 市政モニター制度について



図表 3-17 市政モニター制度についての主な意見

改善点・要望がある（アンケート調査結果の市政への反映）（28 件）

自由記述	性別	年代	エリア
「意見を反映したもの」として、いくつか事例が紹介されたが、何のことを述べているのか全然イメージがわからなかった。文字だけじゃなく、写真などで紹介してくれるとわかりやすい。そもそも、どういう意見があって、どう反映されたのかもよくわからない。	男性	30 歳代	東部
設問が偏っている。正直、市政がどうしたいか、という事しか聞いていなく、市民の意見のため、とは考えにくかった。 自分の意見を聞いてもらっているのか、全然自覚が持てず、正直意味ないなと感じた。 ただ、今までこういう機会がなかったので、これからももっと色々な人の声を吸い上げて欲しい。市民から。	女性	40 歳代	中部
市民の意見を聞くことは良いことだと感じます。 少数意見を反映することは難しいと思いますが、未来の福山のために活用していただきたいと思います。	女性	50 歳代	中部
どの様にモニターの意見が市政に反映できているのかを知らしめて欲しい。すぐには無理でも！	女性	70 歳以上	南部

改善点・要望がある（アンケート調査の実施方法）（27 件）

自由記述	性別	年代	エリア
地区限定アンケートを作してほしい	男性	10 歳代	松永
仕事もしているので、自分の時間を見つけて回答しています。「まだですか？」といった電話を仕事中にするのをやめてほしいです。出来るだけ早めに出すようにがんばります。お城がとてまかっこよくなっていてステキでした。モニターをしていたので、とても親近感があった。	女性	30 歳代	東部
モニターで意見したことがどう反映されたのかが分からない。意見の取りまとめだけなら特に登録制にしなくても良いのでは？「こういう意見が多かったのでこう是正していく」といったスタイルができると良いのではないのでしょうか？ 市政を知るうえではとても有用なスキームでした。	女性	40 歳代	東部
やはり、どんどん市政に興味を持てるように魅力的なアンケートや参加方法を各種試せば良いと思います。時には謝礼が有っても良いと思うし、市政に参加しているという実感がもっとほしい。	男性	60 歳代	北部

良い制度だと思う（市や市政について知る・考える機会になった）（27 件）

自由記述	性別	年代	エリア
今まで市政について全く考えることがなかったけど、興味を持つきっかけを与えていただいたと思い、感謝しています	女性	30 歳代	北部
市政に、対して興味もてる	男性	40 歳代	北部
市政に関心が持てた。又理解でき良かったと思います。有難う御座いました。	男性	70 歳以上	中部
突然の市政モニターになりビックリと出来るのだろうか？と不安でしたが、市政の仕事を知る機会にはなりました。協力する事には少し参加しなくては行けない事を強く感じました！	女性	70 歳以上	中部

良い制度だと思う（意見を市に伝える機会ができた）（25件）

自由記述	性別	年代	エリア
なかなか普段の生活で、市に自分の意見を言える機会がなかったので、伝えることができた気がしてなんだか少しスッキリしました。他の人たちの意見も知ることができてよかったです。 福山市でこんなことがあるんだ、と知る機会にもなりました。 もっとたくさんしたことや、たくさんの方の意見を聞いてくれたら嬉しいです。	女性	20歳代	北部
とても良い制度だと思います。一市民として思いを伝えられる機会が持てて嬉しかったです。	女性	40歳代	東部
色々な人の意見や要望を反映することができる良い制度と思う。	男性	60歳代	中部
行政として市民の声を聞く一端として市政モニター制度も良いのではないかと	男性	70歳以上	神辺

改善点・要望がある（アンケート調査のテーマ）（19件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山について詳しくない者からすると、難しい内容が多かった。 もう少し分かりやすいものにしてほしい。	女性	30歳代	中部
今回のテーマは、子育て経験がない・子供ができなかったという人にとっては、回答が難しいですね 過去のアンケートでも、回答に苦慮することが多少ありました いろいろな立場の方がおられるので、設問内容や方法など、もう少し検討されてはと思います	男性	60歳代	北部
もっと地域や町内会の課題も取り入れてもらいたい	男性	70歳以上	東部

改善点・要望がある（アンケート調査の質問文・回答形式）（18件）

自由記述	性別	年代	エリア
催促メールにも URL を貼っていただきたい。過去のメールを探す手間がかなりしんどい。 回答「必須」の質問は、該当するものがなく、意に反する場合でもどちらかを選ぶ必要があるので困る。	女性	30歳代	東部
選択肢のある設問で選びようがなくその他を選ぶことが多いアンケートの回があった。選択肢の言葉の選び方をかんがえてほしい。	女性	40歳代	松永
年四回とかで回数を決めるのではなく、聞きたいテーマ毎に随時アンケートを実施する方が良いのではないかとと思う。 アンケートの方式について、記述は備考扱いで意見がある人のみお願いし、基本的には全て選択式とする方が良いのではないかとと思う。	男性	50歳代	松永

改善点・要望がある（市民の意見の聞き取り方法）（14件）

自由記述	性別	年代	エリア
目を通すのは大変だと思いますが質問コーナーがあっても良いかな	女性	40歳代	中部
分野別のモニター制度があった方がより良い意見を集められると思います。	男性	50歳代	中部
年に一回位は市職員（行政の関係者）とお会いしてモニター会議を開いて生の声を聞きたい。行政の報告等を生の声で聞いたり質問が出来たら幸いと思います。	女性	70歳以上	神辺

改善点・要望がある（モニター数・属性）（13件）

自由記述	性別	年代	エリア
自分のまわりも知らない人が多かったので、もっと知ってもらえるようにしたら良いと思いました。	女性	40歳代	中部
市政にあまり関心を持っていなかったため、失礼だったかなと思っています。関心のある人が参加できるシステムになれば、より良い意見が集まるでしょう。	女性	60歳代	神辺
市政モニター制度は良い取り組みだと思います。今後新たなモニター者にシャッフルされて意見・アンケートの声を拾い上げて下さい。（同一モニター者では思いが固定されるのではと懸念します。）	男性	70歳以上	北部

改善点・要望がある（アンケート調査結果やモニター属性情報の公表）（8件）

自由記述	性別	年代	エリア
いくら位の方たちが参加され、どのくらい意見が検討、採用されているのが分かりにくい。	男性	20歳代	中部
アンケート集約され次第、実態を知らせてほしい。市、行政内容が少し早く情報が入り良かった。乱筆、乱文で失礼しました。あしからず。ありがとうございました。	男性	70歳以上	東部

良い制度だと思う（福山市のまちづくりに貢献できた）（7件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山市に少しでも力になれてる事が嬉しかったです。	女性	20歳代	中部
このような機会を設けてくださり、大変ありがとうございました。私の小さな意見により、少しでも、市民生活の水準が向上できたならば幸いです。	女性	30歳代	中部

良い制度だと思う（継続してほしい）（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
こちらは大変勉強になりました。自分の意見を発信できるのはいいことだと思います。どのような形でもいいからこれからもこういう機会をつくってほしいです。	男性	40歳代	東部
有意義であったと思います。今後も何らかの形で続けていって欲しいと思っています。	男性	70歳以上	中部

良い制度だと思う（その他）（3件）

自由記述	性別	年代	エリア
良いことです。体力が落ちましたががんばっています。	女性	70歳以上	北部

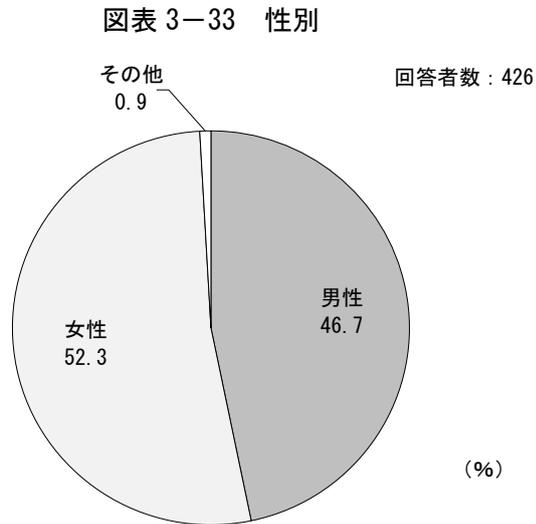
その他（16件）

自由記述	性別	年代	エリア
福山市役所が困っていること、市民に協力してもらいたいことなどをどんどん発信されては、いかがでしょうか。	男性	50歳代	中部
市政についてあまり考えたことがなかった	男性	60歳代	中部
あまり歓迎されていない	男性	70歳以上	北部

(3) 回答者の属性

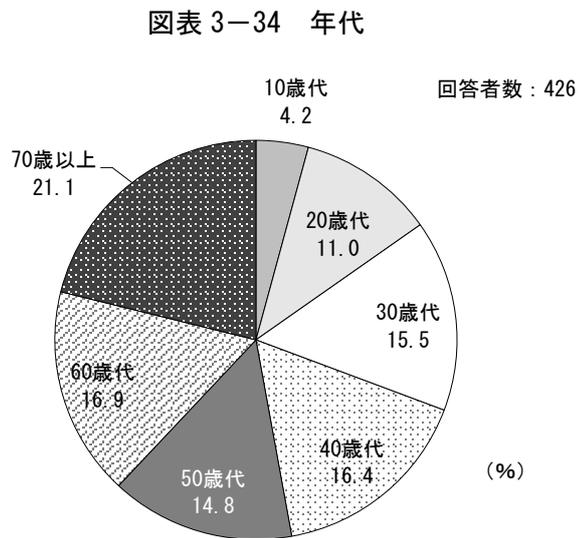
① 性別

「男性」が46.7%、「女性」が52.3%と、僅かに女性が多くなっています。



② 年代

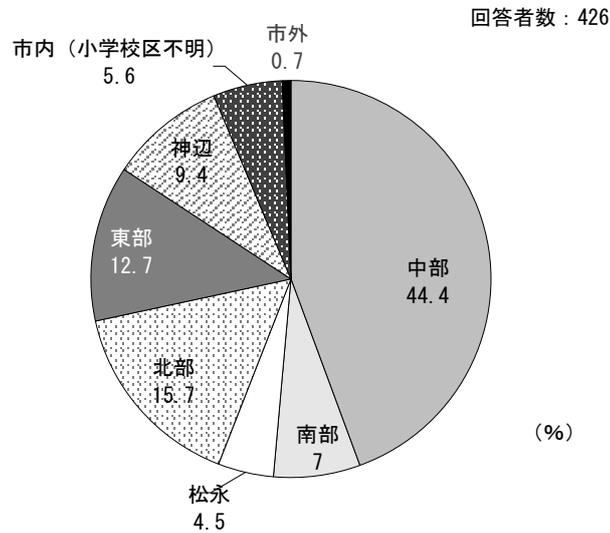
「70歳以上」(21.1%)が最も多く、次いで「60歳代」(16.9%)、「40歳代」(16.4%)となっています。



③ エリア

「中部」が最も多く、44.4%を占めています。次いで「北部」(15.7%)、「東部」(12.7%)となっています。

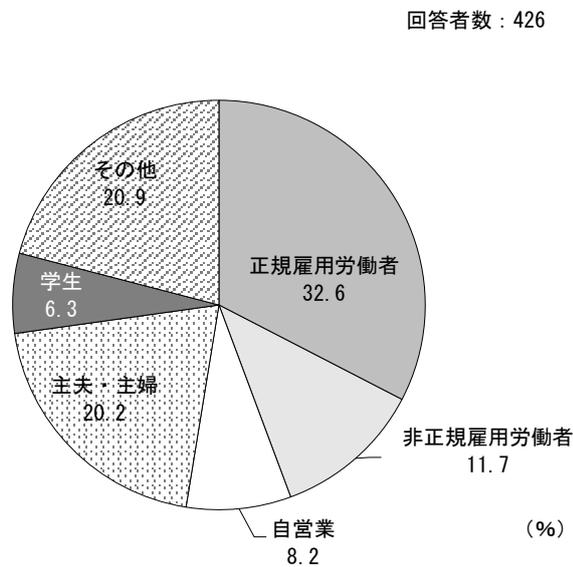
図表 3-35 エリア



④ 職業

「正規雇用労働者」(32.6%)が最も多く、次いで「その他」(20.9%)、「主夫・主婦」(20.2%)となっています。

図表 3-37 職業

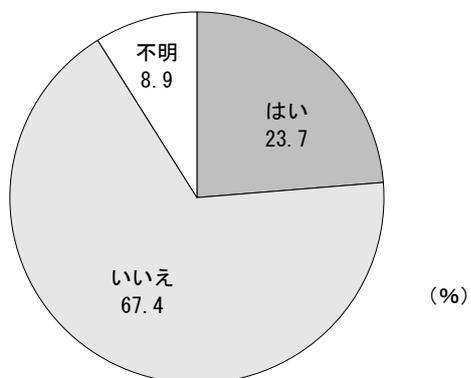


⑤ 子育て世帯

「いいえ」が67.4%を占め、子育て世帯ではない回答者が多くなっています。

図表 3-36 子育て世帯

回答者数 : 426



資料編 2022年度（令和4年度） 第3回 市政モニターアンケート調査票

【アンケートの趣旨】

今回のアンケートでは、今後の子育て支援施策のあり方や市政モニター制度について、ご意見をお伺いします。

【回答にあたって】

モニターの皆様には以下の質問にご回答いただき、同封の返信用封筒にて送付いただきますようお願いいたします。**【2022年（令和4年）11月24日（木）必着】**

なお、アンケート結果の迅速な集計・分析のために、返信用封筒の宛先を委託業者（公益財団法人 中国地域創造研究センター）としております。

また、①アンケートの回答内容と②回答された方の名前や住所を除く情報（年代、性別、地域、職業等、子育て世帯該当・非該当）を同業者に提供しますが、回答された方が特定されない形で集計・分析し、結果を市ホームページなどで公表します。個人情報の取り扱いには十分留意しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【電子申請システムによる回答へ変更のお願い】

アンケート結果の迅速な集計・分析のために、福山市電子申請システムによる回答にご協力いただける方は、同封の手順書を確認いただき手続きをさせていただきますようお願いいたします。なお、今回から電子申請システムに変更された方は、同封している返信用封筒による提出は必要ありません。次回アンケートから、電子メールによりアンケートの案内をさせていただきます。

【アンケート内容】

1 今後の子育て支援施策のあり方について

本市では、2017年度（平成29年度）に福山ネウボラを創設、市内13か所にネウボラ相談窓口「あのね」を開設し、母子保健と子育て支援を一体的に提供しながら、妊娠、出産、子育てについて、切れ目のない支援に注力してきました。

本市の今後の子育て支援施策のあり方についての参考とするため、次の質問にお答えください。

問1 福山市が「福山ネウボラ」に力を入れていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- | |
|---|
| <p>() ①知っていた</p> <p>() ②「福山ネウボラ」という言葉は知っていたが、力を入れていることは知らなかった</p> <p>() ③「福山ネウボラ」という言葉も、力を入れていることも知らなかった</p> |
|---|

問2 「子育てしやすいまち」と聞いて特にイメージするものは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

- () ①保育料など子育てに係る費用の負担が少ない
- () ②公共施設の利用料が子どもは無料である
- () ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある
- () ④保育所や放課後児童クラブが充実している
- () ⑤待機児童がない
- () ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している
- () ⑦子育てについて気軽に相談できる場所がある
- () ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある
- () ⑨仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる
- () ⑩男性の育児休暇取得を推進している
- () ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している
- () ⑫教育環境が充実している
- () ⑬小児医療機関が充実している
- () ⑭商業施設が充実している
- () ⑮特にない
- () ⑯その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。）

(自由記述欄)

<hr/>

問3 福山市が十分取り組んでいると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

- () ①保育料など子育てに係る費用の負担が少ない
- () ②公共施設の利用料が子どもは無料である
- () ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある
- () ④保育施設や放課後児童クラブが充実している
- () ⑤待機児童がない
- () ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスが充実している
- () ⑦子育てについて気軽に相談できる場所がある
- () ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所がある
- () ⑨仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革に行政が取り組んでいる
- () ⑩男性の育児休暇取得を推進している
- () ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所が充実している
- () ⑫教育環境が充実している
- () ⑬小児医療機関が充実している
- () ⑭商業施設が充実している
- () ⑮わからない
- () ⑯その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問4 福山市がさらに取り組む必要があると思うことは何ですか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

<p>() ①保育料など、子育てに係る費用の負担を少なくする</p> <p>() ②公共施設の利用料を子どもは無料にする</p> <p>() ③妊娠や出産などの際にプレゼントや祝い金がある</p> <p>() ④保育施設や放課後児童クラブの充実</p> <p>() ⑤待機児童の解消</p> <p>() ⑥一時保育や病児保育などの保育サービスの充実</p> <p>() ⑦子育てについて気軽に相談できる場所の充実</p> <p>() ⑧子育てについて専門的な相談が受けられる場所の充実</p> <p>() ⑨仕事と子育てを両立するための働き方改革の推進</p> <p>() ⑩男性の育児休暇取得の推進</p> <p>() ⑪親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実</p> <p>() ⑫教育環境の充実</p> <p>() ⑬小児医療機関の充実</p> <p>() ⑭商業施設の充実</p> <p>() ⑮わからない</p> <p>() ⑯その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください。)</p>
--

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問5 子育てに喜びや幸せを感じるために必要だと思うことがありましたらお答えください。

(自由記述欄)

<hr/> <hr/> <hr/>

2 市政モニター制度について

この市政モニターは、幅広い世代の様々な立場の皆様からご意見をいただき、市政運営につなげることで、市民に身近な姿勢を実現することを目的に導入しました。

これまで、合計7回で28の主要テーマについて伺い、ご意見を施策に反映することができました。

今後、皆様からの意見をどのように聴くかを検討するため、次の設問にお答えください。

○意見を反映した主なもの

【施策】

- ・みらい創造ゾーンでは、市民が各種イベントやスポーツなどに利用できる多目的広場とし、開場時間や利用料について、既存施設の状況を踏まえ、条例を制定し、供用を開始した。
- ・多文化共生社会のまちづくりでは、やさしい日本語や多言語による行政・生活情報の提供として、市ホームページに「やさしい日本語」変換機能を導入した。
- ・行政のデジタル化では、ネウボラ相談や外国人相談について、オンライン対応が可能となった。
その他、公共施設予約システムで空き状況が確認できる施設を追加している。
- ・行政サービスの質の向上として、死亡届出後や出生届出後の手続を1つの窓口で受け付ける、「おくやみワンストップ窓口」、「出生ワンストップ窓口」を開設した。

【計画】

- ・「福山市子ども読書活動推進計画(第3次)」の策定に際し、アンケート結果を策定委員会に資料として提供し、計画に盛り込んだ。
- ・アンケート結果等を踏まえ、福山市地域戦略を策定した。

【その他】

- ・一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会が設立され、東京等への提言活動が行われる中で、その活動に必要な説明用資料として市民の福山道路等への整備促進期待度を報告し、整備の必要性について提言を行った。
- ・福山城博物館の展示リニューアルでは、アンケート結果を受け、映像データの充実や体験型のコンテンツを盛り込むなど、わかりやすい展示とした。
- ・「福山城400年博-FUKUYAMA CASTLE EXP02022-」では、「若者の関心を高める必要がある」「若者が参加したくなるようなイベント内容もあった方がいい」とのご意見を踏まえ、最先端のデジタルアートイベントである「チームラボ福山城 光の祭」や「ふくやま駅前マルシェ」といった若い世代の関心度が高いイベントの情報発信に努めている。

問1 市政モニターに登録した理由について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

- () ①市政に興味があるから
- () ②市に思いを伝えたいから(市政に対して自分の意見を述べる場になるから)
- () ③家族・友人・知人などに勧められたから
- () ④市政モニターに興味があったから
- () ⑤その他(具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

<hr/> <hr/> <hr/>

問2 市政モニターとしてこれまでアンケートに回答してきた、どうでしたか。次の①～⑮についてそれぞれ当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
①生活に密着したテーマで回答しやすかった					
②毎回異なるテーマで市政全般について考える契機となった					
③市政の課題が分かった					
④興味の持てるテーマであった					
⑤市政に関する新たな情報を得ることができた					
⑥市に自分の意見を言うことができた					
⑦市政に興味を持つきっかけになった					
⑧市政に関するほかの人の意見を知ることができた					
⑨市政を身近に感じるようになった					
⑩市の施策に自分の意見を活かすことができた					
⑪実施回数（年4回）が多かった					
⑫設問数が多かった					
⑬記述が多かった					
⑭設問内容が難しく回答しにくかった					
⑮意見がどう反映されたのかわからない					

問3 これまで電子申請と郵送でアンケートを実施してきましたが、集約までに時間がかかっていました。今後、市公式 LINE を活用したアンケートを検討していますが、参加をしたいと思いますか。当てはまるものに「○」を記入してください。また、その理由を自由記述欄に記入してください。

<input type="checkbox"/> ①参加したい <input type="checkbox"/> ②内容によっては参加したい <input type="checkbox"/> ③参加したくない
--

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問4 市政モニター制度についてご意見がありましたら記入してください。

(自由記述欄)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

【問合せ先】

福山市市民局まちづくり推進部 まちづくり推進課

☎084 (928) 1217

8:30～17:15(土日祝日を除く)